



六稜会報

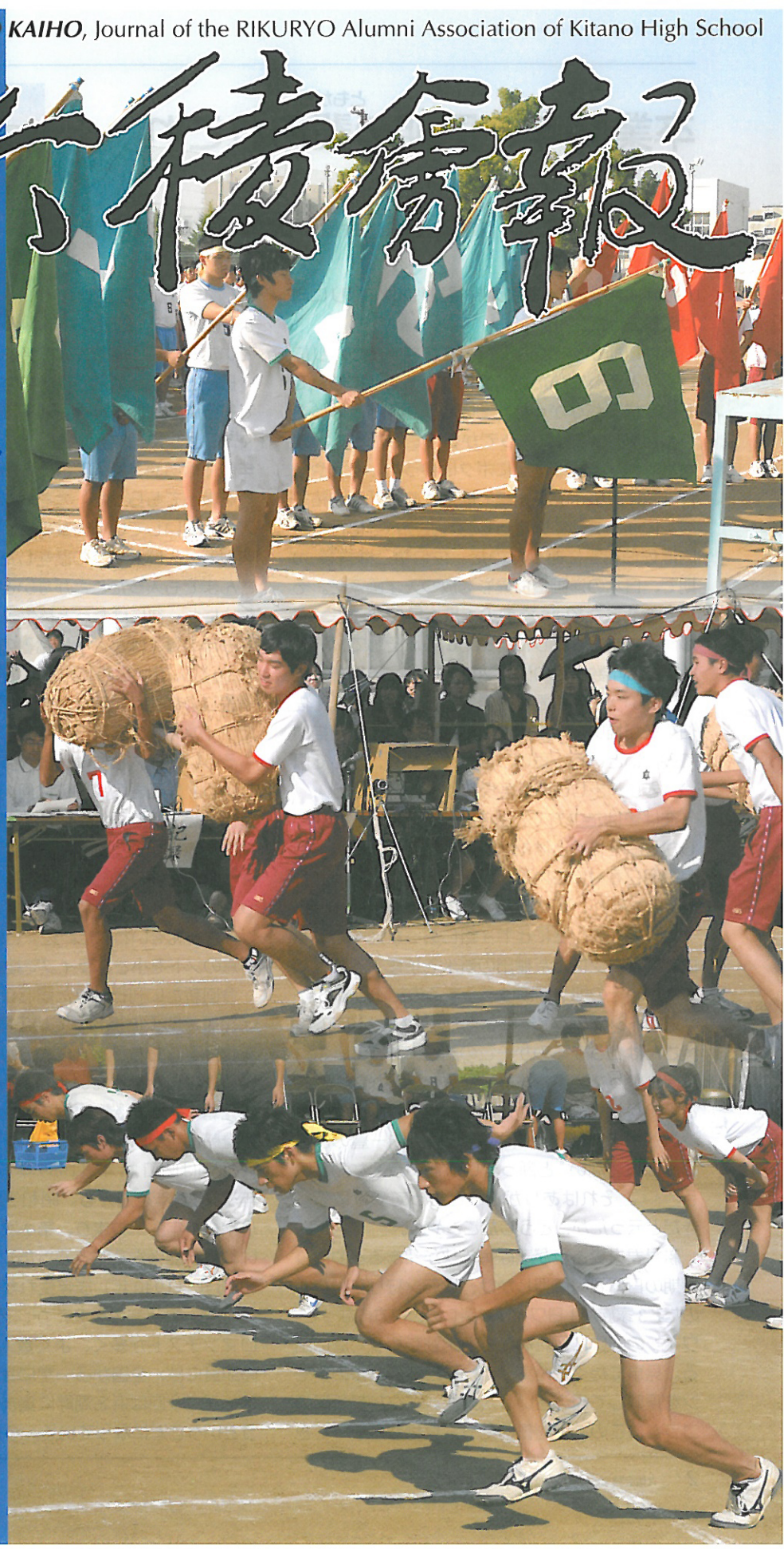
INDEX

- 02 会長巻頭言
- 03 名誉会長巻頭言
- 04 135周年記念総会報告
- 07 六稜精神と先輩・森一郎氏のこと
- 10 東西講演会比較
・六稜トークリレー
・東京六稜倶楽部
- 11 六稜文庫
- 12 トピックス
・パラグライダー
世界選手権
- 13 FR委[報告]
・第2回行列のできる
就活相談所
- 16 特集
・ブルのルーツ
- 20 事務局だより
・年会費納入状況
・理事会報告
- 27 母校に還った六稜生
・社会科 的井先生
- 28 母校の窓
・クラブだより
- 30 表紙解説
ウェルカム121期
・学年理事、クラス幹事
- 31 六稜短信

Party Reports

- 14 卓球部60周年
- 15 バスケ部80周年
- 21 新聞部OB会
64期
- 22 70期50周年
- 23 71期、97期
- 24 111期
- 25 117期
- 26 クラブ対抗ゴルフ

52
2009.3.1



ともがら 卒業50年、同期の輩あれこれ

六稜同窓会 会長 山本雅弘 (71期)



今年1月2日、同期の勝村君がついにパリに向けて旅立った。

彼は以前からボクたちに「夏になったらパリに行く」と云っていたが、夏になっても秋になっても動く様子がなかった。そのわけがやっとはっきりしたのは12月に入ってからのことだった。彼がボソボソと語った話にボクは参った。どうやら彼は秋に大阪市立美術館で開催された「佐伯祐三展」に通いつめていたらしい。彼がパリに行く目的は佐伯祐三にあったのだ。佐伯祐三は六稜30期で、日本の洋画壇に異彩を放つ天才画家だ。そして彼もまた約80年前の1月2日、神戸港—マルセイユを経てパリに着いている。そして、その後通算2年数ヶ月の間に200枚を超える風景を描いたという。勝村君は1年間パリに滞在して、佐伯祐三が描いた同じ場所で同じパリの風景を描いてみたいという、思いつき破天荒な、そして思いつき羨ましい夢を実現する旅に出たのだ。

彼は筆はたつ方で、本を2冊出版しているが、しかし絵を描くとはだれも聞いたことがない。奈良の明日香村に広い畑と棚田を借りている。もう5年になるが、畑の収穫や田植えに押しかけて、その作業のキツさにヒドイ目にあった連中もいるはずだ。ボクはただ棚田の新米を頂戴するだけだったが。その畑や棚田はどうするのだろう。

このトシになると気になるのは連れ合いのこと。奥さんはどうするのか—この話題になって、ボクはまた参った。奥さんは行かない。行かないけれどそのかわりに、貯め込んだヘソクリの通帳とハンコが出てきたそうだ。「オレは山内一豊のように馬は買えない」と断っているという。なんという……。それはありがたいと云って受け取るべきだと云ったが、どうしたことやら。

勝村君夫妻と我が家は毎年秋が深まるとやはり同期の日置君宅に押しかけ、レモン狩りをしたものだ。3家族が1日ワイワイ楽しみ、夕方になって、ワインの酔いに揺れながら剪定鋏を持って庭に出る。見事にたくさん実っている自然のままのレモンを頂戴して帰るという次第だ。ボクが某新聞のコラムにこのことを書いたら、見物客がやってき

て「エーこんなにせまい庭なの」と云っ

ていたという、日置夫人の笑い顔を思い出す。

日置君が逝ってもう2年になる。彼に命を救ってもらった同期の連中は多い。かくいうボクも「オマエ、オレに命を預けろ」と云われていたし、数年前にはあやうく人工肛門をつける身になるところを救ってもらった。今も同じ大学病院で眼のケアをお願いしている。なのに「医者の不養生」の典型で、人間ドックの話をしたら本人はおろか奥さんまでも入ったことがないという。ボクたちのためにも、彼にはもっと長生きしてほしい。

去年の夏、ほんとうに猛暑のころ、勝村君たちと10数人ではじめて日置君の墓に参った。強い陽差しのなかで、汗をかきながら、みんなで飲んだワインの味が忘れられない。

そういえば六稜には医者が多い。同期でもかなりいる。早石君の病院には何人も世話になっているようだ。伊藤君は長い間某ゼネコンの診療所に勤めた赤ヒゲ先生だ。開業医でみると、今井君にはボクの勤務先の先輩アナウンサーがお世話になっていると、これは先輩から、ていねいに頭をさげながら礼をいわれた。佐々君は本業のかたわら、得意のノドを小さなライブで披露しているようだ。

今回新たに刊行された同窓会名簿で数えてみると、医療関係に携わっている同期は他にも10指を超える。もちろん、他の分野で現役で活躍している連中もたくさんいるが、443名のうち、すでに鬼籍に入った数も40に近い。お医者さまとの距離感がずいぶん近くなるトシではある。

71期は昭和34年(1959年)卒業で、従って今年卒業50年を迎える。昭和22年(1947年)に小学校1年生—つまり、第2次世界大戦後の新しい教育制度(六三制と云った)の第1期生だ。昭和15年(1940年)辰年生れが中心で、辰は十二支で唯一の空想の動物だが、そのせいだろうか、ロマンチストが多く、よく数人で集まる。5年毎の節目には、全国から一堂に会して旧交を温めてきたが、今回は浜名湖畔に集まって一宵を楽しもうということになっている。今から待ち遠しい。

ごあいさつ

六稜同窓会 名誉会長 石本 正明



同窓会員の皆様には日々、お元気でご活躍のことと存じます。平素は、母校の教育活動に格別のご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。加えて平成20年は北野高校創立135周年の年でした。学校としては特段の記念行事等はいりませんでしたが、六稜同窓会では記念事業の一環として化学実験室と応接室にエアコンを設置、ご寄贈いただきました。スーパーサイエンスコースだけでなく、北野では授業の充実のため多くの実験実習に取り組んでおり、近年の厳しい暑さの中で大いに活用させていただけるものと喜んでおります。この場をお借りして、重ねて御礼申し上げます。

また、記念の総会も例年以上に多くの皆さんが参加され、賑やかに行われました。お招きをいただき楽しい時を過ごさせていただきましたが、同窓会員の皆様が母校を応援いただく思いがあって今の北野も頑張らせていただいていることを改めて実感いたしました。

校舎が新しくなって早7年が経とうとしています。新しい校舎では、十三公園に面して校地の北側に正門ができています。阪急十三駅から学校に向かうと、正門の手前に校地を囲むフェンスがあり、その脇に大きなイチヨウの木が昔の姿で何本も植わっています。この冬は例年以上に黄葉が遅く、11月が終わろうとする頃まで緑のままの葉が残っていましたが、12月にはその遅れを取り戻すかのように瞬くうちに黄葉が進み、今はすっかり裸木となって冬ごもりの風情です。

コンクリート打放しのモダンな校舎や同窓会館を取り巻くように、イチヨウを始め旧校舎の時代から時を重ねたクスノキやケヤキはもちろん、点在する笹部桜や野田藤、あじさいといった木々が季節の移り変わりを教えてくれます。伝統と今の融合を象徴するような恵まれ落ち着いた環境の中で、今日も元気な生徒諸君の声が聞こえてきます。

おかげ様で学校は変わりなく、生徒諸君は勉学に、部活動にと充実した高校生活を送ってくれています。卒業を前に3年生はいよいよこれからが受験に向けての正念場ですが、これまで北野で培

ってきた実力を発揮して例年に劣らぬ成果を上げてくれるものと期待しています。

さて、大阪府教育委員会では平成11年に「教育改革プログラム」を発表し、10年計画で様々な改革を進めてきましたが、今年度その最終年度を迎えて次なる改革に着手するため、新たに『「大阪の教育力」向上プラン』が発表されました。その中では、「学校力」を高める、学校・家庭・地域をつなぐ、子どもたちの志や夢をはぐくむという3つの目標のもと、10の基本方針と35の重点項目が示されています。

たとえば先の改革のスローガンの一つは『「入れる学校」から「入りたい学校」へ』というものでしたが、今回の改革では府立高校の特色づくりをさらに進めて多様化を拡大し、すべての学校を「入ってよかった学校」にすることが謳われています。現段階では大きな方向性が示されたということで、具体的なことは今後の発表を待つことになりますが、本校として関心を寄せることのひとつとして、このプランの中で進学指導に特色のある専門学科や専門コースを設置する計画（進学指導特色校）が挙げられています。

本校はこれまでもスーパーサイエンスハイスクール（現在はスーパーサイエンスコース）やエル・ハイスクール（次代をリードする人材育成研究開発重点校）として文科省や府から指定を受け、様々な取り組みを進め成果を上げてきました。全国学力調査の結果は直接は小中のこととしても、大阪の公立学校の教育力の低下が言われています。本校に進学指導特色校の指定があるかどうかは今後のことですが、府立を代表する高校の一つとしての自負を持って、新たなプランの中でも大きな役割を果たしていけるよう取り組みを進めていきたいと思っております。同窓会員の皆様には、引き続き母校を見守っていただき、ご支援をいただきますようお願いして、ごあいさつといたします。

六稜同窓会135周年記念総会のご報告

西田吉直、橋田恵子、西田有利子、井岡尚子（89期）



2008年10月26日（日）、六稜同窓会135周年記念総会が北野高校多目的ホールおよび六稜会館で盛大に開かれました。当日は朝から降ったりやんだり、あいにくの雨模様でしたが、総会出席者は46期から120期まで249名にのぼりました。今回は記念の総会でもあり、受付では記念品として「六稜」の文字が入った金属製しおりが出席者全員に手渡されました。当番期の89期（昭和52年卒）は、98名が参加し、受付、設営、警備、

卓話司会、懇親会進行、記録等にあたりました。伝統を踏まえながらもフレッシュで元気な総会を目指して運営いたしました。

【第一部 総会】総会に先立ち在校生吹奏楽部（本校音楽科佐々木先生指揮 1、2年生57名）の記念演奏がありました。イギリスの昔話をテーマにした「トムティットトット」の演奏で始まり、次の「篤姫」のテーマ曲では、真に迫るセリフのオー

ーピングも楽しく、引き続き「ハリウッドマイルストーン」（ジョーズ、ある愛の詩、インディージョーンズ、バックトゥザフューチャー、ET、美女と野獣、ジュラシックパーク、フォレストガンプ、アポロ13）のメドレー曲が演奏されました。ホールいっぱいに響き渡る澁刺とした演奏に若さと元気をいただき、真剣なまなざしに心を打たれました。大拍手のアンコールに依ての「鉄腕アトム」のテーマ曲で



は、自然と手拍子が沸き会場が一つになりました。

総会は司会を務める富田昌宏総務委員長（78期）の開会の辞により始まりました。まず、この4月に就任された山本雅弘会長（71期）のご挨拶があり、135周年の節目にあたり名簿が発刊されたこと、六稜会館も盛んに活用され活動も活発であること、同窓会とは「人生のプラスαの場」であり今後も縦横のつながりを密にしていきたいことなどを話されました。

次に名誉会長・石本正明北野高校校長のご挨拶がありました。その中で、学校の現状については、生徒達は充実した高校生活を送っており、前日にも学校説明会が行われたが、生徒達の元気で活発な姿に接し、来春も多数の志願者があるであろうと述べられました。また、本日の演奏のように、今後も在校生と卒業生との交流が盛んに行われることを期待されていると話されました。

続いて135周年記念品目録が山本会長から石本校長に贈呈され、石本校長よりお礼の言葉をいただきました。なお記念品は化学実験室・応接室への空調設備であり、すでに2007年夏より使っていただいております。このあと新役員の紹介があり、木村市三事務局長（73期）より活動報告が行われました。

総会の挿尾を飾る恒例の卓話は、旭化成株式会社情報技術研究所所長・庄境誠さん（89期）の「『開けゴマ!』 技術の過去、現在、未来」でした。今回は新たな試みとして、卓話のあと、皆さんに話の内容をよりご理解戴くために同期の西尾章さん、小島文さん、橋本博美さんが加わりパネルディスカッションが行われました。

【第二部 懇親会】懇親会および120期歓迎会が六稜会館3階に会場を移して行われました。今回は例年より多数の参加があり、会場は



かなりの賑わいでした。司会はタキシード姿の梅本州一さんと、川上紀子さん（89期）。

まず135周年を記念して清酒「六稜」の鏡開きが会長の山本雅弘さん（71期）、副会長の志甫溥さん（66期）、上田成之助さん（80期）、当日最高齢92歳の楠嘉美さん（46期）によって行われました。続いて乾杯の御発声も楠さんにいただき、そのお元気なお声に一同一氣に盛り上がり歓談にうつりました。

和やかに世代を超えて交流が広がるなか、新会員となった120期を代表して中川玲美さん、藤本茜さんが挨拶され、続いてお楽しみの大抽選会が行われました。名札に付けられた番号によって商品券が当たる方式で、135周年記念の今回は当選者数が例年より多くなっており、番号が呼ばれるとあちこちから歓声が上がりました。次回の幹事期である90期のテーブルが特に当選者が多く、盛り上がっていたようです。その90期を代表して、大西博昭さんが次回にかける意気込みを語って下さいました。

懇親会も終盤にさしかかり、当番期である89期が高校生時代のヒット曲で、準備期間中から同期会のテーマソングにもなっている中島みゆきの「時代」を、大屋知嗣さん（89期）のリードのもと、井上千夏さん（89期）の伴奏で合唱しました。その後、全員で校歌「六稜の星のしるしを」を声高らかに合唱しました。恒例の応援部によるエー

ルは、90期の応援部OB増田昭雄さんをお願いし、学生服での凛々しいエールに称賛の声がありました。閉会の辞は副会長の上

田成之助さんがなされ、めでたくお開きとなりました。

懇親会の帰りの際には、抽選会の参加賞として校章入りパッケージのチョコレートが配られました。予想を超える出席者数で、一部行き渡らなかった方がおられました事をお詫びいたします。



「栞」の寄贈

89期から、総会を記念して校章入り金属「栞」の寄贈を受けました。総会参加者には、当日お渡ししました。どうもありがとうございました。

●六稜同窓会 135 周年記念総会 【庄境誠氏の卓話】 「“開け、ゴマ!” 技術の過去、現在、未来」



『アリババと40人の盗賊』というお話は、音声認識の正しい使い方（すなわち、『開け、ゴマ』というおまじない言葉）を学んだ利用者はその便利さを享受できる、という現在の音声認識の現状を言い表しています。現在は、カーナビにおける音声での入力検索、電話オペレーターの代替手段、パソコンでの声による文書作成などに実用化されています。また今後は、音声入力によるインターネット検索や、自動翻訳機を通して外国人との母国語による直接対話を可能にする技術がさかんになると考えられます。

音声認識のしくみは、雑音をキャンセルして信号処理した情報と、辞書である語彙ネットと声のばらつきのモデルを使い、ソフトウェアが何をしゃべったかを認識し、カーナビ等に教えるしくみになっています。

音声認識の技術では、入力はいくつかのマイクを使った音声でしたが、カメラや赤外線、ガスなどを入力できるセンサと組み合わせると、いろいろな応用が可能となります。

私はいろいろなセンサからの入力に対して情報処理を施すことを、『センソインフォマティクス』と命名しました（一般的にはセンシングと言われている）。従来、センサからの信号は数値の羅列から特徴を読み取っていましたが、信号の特徴が直感的にわかるように「見える化」し、カラー画像の点々の分布で表す『COSMOS法』というものを開発しました。カラー画像の点描図を『COSMOS地図』と言います。

たとえば、赤外線センサを防犯に応用した場合、留守宅で犬や猫のペットが動き回ったくらいで反応してもらっては困ります。人と犬のたくさんのセンサ信号から作成したCOSMOS地図を分析してあらかじめ作っておいた人モデルと犬モデルを、

入って来た情報と比較することにより、人か犬かを見分けることが可能になります。これにより、誤報を100%とはいかないまでも、80～90%削減できるようになりました。

音声認識の技術は人間の声を認識することだけに利用するのではもったいない話です。例えばこのように赤外線センサと組み合わせることにより、新しいサービス、利便性を提供することができます。

センサから入ってきた信号・波形をじっと眺めてみただけでは解釈しにくかった情報でも、COSMOS法を使うことにより、今まで見えなかった新しい情報を発見できる可能性があります。この技術がますます発展し、我々の身近なところで活躍することでしょう。

今後は、自動化・無人化・省エネへ、そしてハンズフリーで安全に寄与し、防犯や見守り（介護、看護、安心）、健康状態の維持に役立っていくと思われるます。

*

庄境さんの卓話の後、聴衆の皆さんに最先端技術をより深く身近に感じて戴くために、同期の西尾章さん、小島文さん、橋本博美さんが加わりパネルディスカッションがおこなわれ、京都の先端技術企業に勤務の西尾さんからCOSMOS法の開発の動機と今後の技術展開について、中国文学教授の中山さんからは自動翻訳技術の実現見通しについて、放射線科医師の橋本さんからは検査結果の解析にCOSMOS法が応用できないかとの質問がありました。これについて庄境さんは、センサからの情報が直感的にわかるようにCOSMOS法を開発し、「いのちとくらしに貢献する」ためにこの技術を応用していきたい。使い物になる自動翻訳電話技術についてはこの先20年程はかかるであろうこと。検査結果や、身体にセンサをつけた場合のデータの解析にCOSMOS法を応用すれば、病気であるかどうかのふり分けをすることが可能になる一方、患者本人の病状への理解に役立つであろうことが説明されました。

【庄境 誠さんのプロフィール】

北野高校 89 期。京都大学工学部卒、同大学院工学研究科修士課程修了。

旭化成工業株式会社入社。在職中に、ヘルシンキ工科大学客員研究員、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士課程在学などの経験を経て、現在は、旭化成株式会社音声ソリューションビジネス推進部部長、情報技術研究所所長、旭化成グループフェロー。平成18年度情報処理学会山下記念研究賞受賞。工学博士。専門は、音声認識を中心とする音声情報処理、パターン認識分野。音声コントロール方式のカーナビゲーションシステムの実用化に留まらず、センサと大規模データの情報科学の融合を通して、人々の「いのち」と「くらし」に貢献する新しい世の中の実現を目指している。

六稜精神と先輩・森一郎氏のこと

六稜同窓会 顧問 大山利雄 (56期)

5月23日(1999年)、大阪で行われた56期会に出席された平井龍明君が、吉田公男君から言付かった資料を届けて下さった。裏千家の千宗室氏(当時、現玄室)が、大阪のネイヴィクラブで話された講演集である。小生、海軍とは関係ないが、裏千家とは親類関係にあるので、あるいは、そのことを憶えていて下さった吉田公男君の配慮かもしれない。読後、破棄するのは、折角の好意に背くように思われたので、友人のK君に送った。K君は、広島の高師附属中学から、五高、東大。学徒出陣で海軍に進み、戦後、野村證券に同期入社した男である。海軍時代の同窓会の取りまとめをやっている様な人なので参考になればと送った。K君から返事が来た。「ご親切にネイヴィクラブ会報、有難う存じます。この手の活動は、関西の方が、同期の八馬とか鳥井を中心にアクティブです。千宗室先生もお話は手慣れたものですが、よくもまあ細かいこと迄記憶力抜群です。」とあり末尾に赤字で、「森一郎」北野→五高ラグビー→東大→海軍・航海学校TOP→大和と書かれてあった。この返事のはがきは6月3日の夜に書かれたものであった。

6月3日の夜、東京六稜会の総会が行われていた。総会の案内状の中に、北野の校長秋田典昭氏の、3月に行われた卒業式の際の式辞をコピーして同封しておいた。(東京六稜会の幹事をしてくれている75期の黒岩瑛一君・(株)野村総合研究所専務の配慮である。)式辞の中で、秋田校長は、「入学の時と、成長した今と比較して感じられる違いは重要な問題ではない。重要な問題は、諸君が北野の生徒として卒業したかどうかにある。府立156校、全国5490校余りある高等学校の中で、まぎれもない北野の生徒として卒業できたか否かである。それでは、北野の生徒として卒業するとはどういうことか。それは本校独自の校風の中で醸成された六稜精神を身につけて卒業するということである。全国の高等学校の中で本校が燦と輝いているのは、この精神が先輩から後輩へと連綿と引き継がれてきたからにほかならない。それは、教室に染み込み、グラウンドに染み込み、校舎に、図書館に、プールに体育館に、この講堂に染み込み、そ

して諸君の体に染み込んでいった。

その六稜精神とは何か。私はこの精神の本質の一つは孤高にあると思う。飽くまで高さを求め、百万人といえども我往かんという精神である。孤高の孤とは……」と続くのであるが、この式辞への評判の良さは大変なものであった。

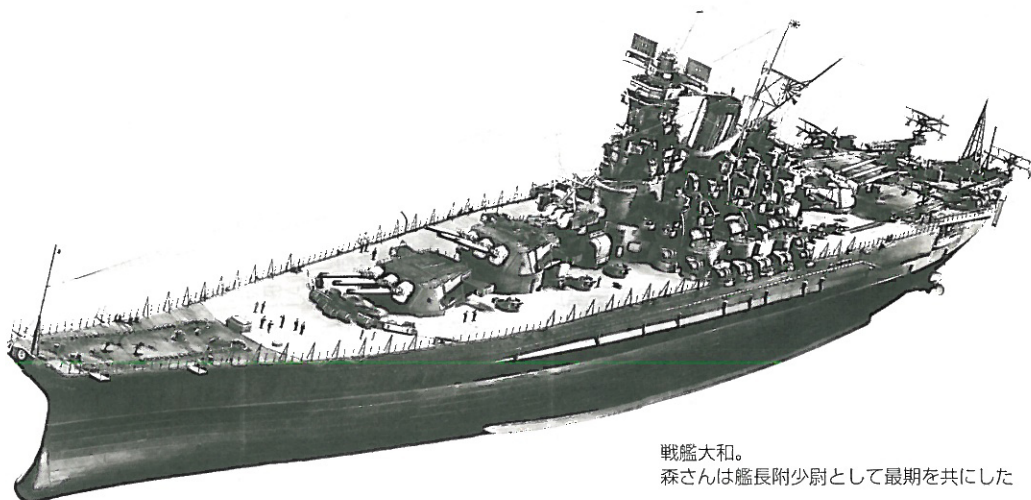
東京六稜会の校長挨拶の中で、六稜精神に就いて、校長の口から敷衍して説明されんことを私は要請した。時間の制約もあったし、遠慮されたところもあったが、校長は「本校の出身者に素晴らしい人は何人も居られるが、今日は森一郎さんのことを紹介する。」と森一郎さんの名前を挙げられたのであった。

全く偶然のことが重なって、6月3日に、二つの線から、森一郎さんと私が関わり合うことになったのである。その夜、家に帰って北野の同窓会名簿をみると、森さんは52期の方であった。(それまで、私は森一郎さんを存知あげなかった。)

K君に連絡して、森さんの資料があったら送ってほしいと依頼をした。早速、全国五高会報特報、



森一郎さん(52期)卒業アルバムより



戦艦大和。
森さんは艦長附少尉として最期を共にした

開校百拾周年記念、「武夫原頭に草萌えて」を送って来てくれた。この中に「[学徒出陣]「戦艦大和ノ最期」と森一郎君のこと」という文章が萩原康治氏によって記述され掲載されてあった。萩原氏は、「先の大戦に関わる三冊の書が手元にある。一冊は野原一夫氏著の「回想・学徒出陣」、他は吉田満氏著「戦艦大和の最期」、「戦中派」の二冊。いずれも当時評判の名著なので既に読まれた方も多い筈であるが、それらの中に登場する海軍武山学生隊の森伍長が、或いは、戦艦大和艦長附の森少尉が、実はわが五高昭和17年3月文甲の森一郎君であると気付かれた方は意外に少ないのではあるまいか。よって、敢えてこれらの書の該当部分を抄出し、改めて在りし日の森君を偲びたいと思う。」と該当部分の紹介をされている。

私は、昭和30年代の後半の略々同じ時期に青森にとともに勤務したということで、吉田さんに親しみをもっていた。従って吉田満さんの「戦艦大和の最期」は何回となく読んだ本であるが、その中の森少尉が北野の先輩だとは知らなかった。56期の諸兄の多くの方々もそうであろう。萩原氏と同様の気持で同氏の文を紹介する次第である。

まず、武山学生隊時代の森一郎さんの思い出として、「回想・学徒出陣」の野原一夫氏の文が紹介されている。

『武装駆足競技、そのときのことは、今でも鮮やかな記憶として私のなかに残っている。そして、戦艦大和で戦死した第十分隊伍長森一郎の面影が、眼前にうかんでくる。(K君の註があり、分隊＝陸軍の中隊。伍長は、人格、体力成績最優秀な者が任命サレルとある) 森一郎、東大経済学部出身。

眉太く眼光鋭く、動作は敏捷活発、身体じゅうから精気が溢れ出てくるような男で、まさしく好漢の名に値する男だった。往復10キロを、帯剣を腰に、三八式歩兵銃を肩にして、各隊毎に40名が一団となって走り抜く競技である。……森一郎は武装駆足競技の第一区隊のリーダーになっていた。リーダーは銃を担がず、帯剣だけ付けばよい。それは私たちが羨ましがらせたが、その羨みが見当違いであったことを走りをはじめてまもなく私たちは知った。始めは先頭に立って走っていた森は1キロを過ぎる頃から、うしろに駆け、前に駆け、叱咤激励の声を飛ばしはじめた。それは私たちの二倍以上の、いや三倍に近い距離を走ることになるのだし、大声で叫びつづければ呼吸は乱れ疲労は急増する。森一郎はそれをやり通した。ばかりではない。帰路のある頃から、疲労が目に見えてきた仲間の銃をひったくようにして森は右肩に担いだ。やがて左の肩にも森は銃を担いだ。森はその上でなお、前に駆けうしろに駆け、叱咤激励の声を絶やさなかったのである。ラグビーで鍛えた体力だけで出来ることとは思えない。旺盛な気力と強烈な責任感が体力の限界を超えさせたのであろう。……森一郎はまことに見事であった。あっぱれであった。』

続いて「戦艦大和の最期」よりとして、吉田満氏の文が抄出されている。

『昭和20年4月6日、最期の水上特攻に向かう巨艦大和の艦上において、前方錨甲板に佇む一人の士官、艦長附森少尉を目撃する。』

「太キ眉ノ影、月ニ冴エシ頬ニ落チタル横顔ハ
森少尉ナリ 艦内随一ノ酒量、闊達ノ氣風ヲモツ
テ聞コエ、マタソノ美シキ許婚者ヲモツテ鳴ル彼
常ニ肌身ヲ離サザル写真ソノ美貌ト、シバシバ
届く便リノ水茎ノ鮮カサトハ、カネテ一次室全員
ノ羨望ノ的ナリ 学徒出陣ヲ目前ニ控ヘシー夜、
初メテ彼女ノ手ヲ握リ「君ノ目モ口モ鼻モ、コノ
手モ足モ、ミンナ俺ノモノダ」ト短キ言葉ヲ残シ
テ、訣別セリトイフ

暗キ波間ニ投ゲタル眸ヲワレニ返し、耳元ニ訴
ヘル如ク呟ク「俺ハ死ヌカライ 死ヌ者ハ幸セ
ダ 俺ハイイ ダガアイツハドウスルノカ アイ
ツハドウシタラ幸セニナツテクレルノカ」(以下略)」

記述はさらに翌7日午後状況に及び、沈みゆ
く大和の艦上、森氏最後の激闘に触れる。「艦長
附森少尉ノ、沈没ノ瞬時マデ叫ビ続ケタル「頑張
レ」ノ声、兵ノ肩ヲ棍棒ニテドヤシツツケタル姿、
今モナホ髭髯タリ 鉄兜、防弾チョッキヲ捨テザ
リシ彼、心憎キ最期ナリ……漂流中、森少尉ヲ洋
上ニ目撃セシ兵アリ……泳法ノ達人ナリシモ、武
装重キカ、瘡深カリシカ 心暖ク、舷側ニテ兵ヲ
救ハントスルアマリ、鼓舞叱咤、ソノ職ニ殉ジタ
ルカ 如何ニ彼、死ニ挑ミ、死トタカヒ、遂ニ
死ヲカチ得タルカ カクシテ 生ヲ全ウシ、己レ
ヲ昇華シタルカ」

吉田氏はその後、遺稿「戦中派の死生観」の中
に、重ねて森氏への思いを述べて曰く。「森一郎は、
三高（これは吉田氏の勘違いである）から東大へ
行き、東大の学徒出陣組の代表として壮行会で答
辞を読んだ。酒が強く、気っ風がよく、水泳の達
人であった。艦が沈没するまで、遮蔽物のない吹
きさらしの防空指揮所で、艦長附として健闘した。
声をからして兵たちを激励するのを、私自身繰り
返し聞いている。最後に海中に飛び込み、立ち泳
ぎをしながら指揮をつづけた。目撃者は沢山いる。
それなのに生還しなかったのは、恐らく機銃弾に



よって、その前後に致命傷を負った為としか思え
ない。」

戦後、父上と姉上が亡くなり、一人残された母
親のイトさんは、90才で亡くなるまで、ただ息
子の菩提を弔う為にだけ、生きてこられた。息子
さんは特に優秀だったから選ばれて危険な作戦に
参加したのだと慰めると、優秀なんかであってほ
しくなかったのに、と新たな涙があふれ出た。』

以上で、萩原康治氏の記述されたものの紹介を
終える。この三編を通じて感ずることは、共通し
て、己を捨てて他を顧みることである。

秋田校長は、六稜精神の本質の一つは孤高にあ
ると述べられ、「孤高の狐とは、自ら求めての狐
ではなく、高さを求めてその結果としての狐であ
る。どんな所においても、どんな場面においても、
誰かが見ていようといまいと、報酬が高かろうが
安かろうが、どこまでも自分の心の求めに応じて、
高さを求めて生きようとする精神」が六稜精神で
あると卒業式の式辞で、巣立つ若い学生に述べら
れた。

森先輩の心の中に、秋田校長の言われる孤高の
精神が、北野の時代に培われたことは、間違いな
いことであろう。その精神を具現して、国に殉じ
られた森一郎先輩のことを56期の諸兄に、或い
は機会があれば、多くの六稜の同窓の諸氏諸姉に
知って頂ければと、紙面を多くかりて紹介させて
いただいた次第である。森先輩の四倍近くの歳月
を生きてきた己の生涯をふり返りつつ、この
稿を終える。

(前東京六稜会長)

【付記】この稿は56期会報(99年11月10日発行)
に掲載されたものを多少修正したものである。昨
年10月15日に東京六稜倶楽部で、82期島本慈
子氏の「戦争で死ぬということ」という講演を聞
きながら、この稿のこと、また同窓会の諸氏に紹
介する機会なく至っていたことを想い浮かべてい
た。

そこで、135周年記念総会のあった日に千種広報
編集委員長にお願いして本号に掲載していただく
ことになった次第を付記しておく。

六稜トークリレー

Rikuryo Talk Relay

http://rikuryo.or.jp/talkrelay/

東京六稜倶楽部

http://rikuryo.or.jp/tokyo/rikuryo-club/

日 時★原則、毎月(第1)土曜日
13:30開場 14:00開演(約2時間)
会 場★六稜ホール(六稜会館3F)
※1Fロビーも同時使用可
会 費★500円(お飲み物を準備しています)
主 催★六稜会館催事委員会
共 催★各期同期会 or クラブOB/OG会など



毎月第3水曜日★日 時
11:00開場 11:30開演(約2.5時間)
ライオン銀座クラシックホール★会 場
(銀座ライオン7丁目店6F)
2,000円(ランチバイキング付)★会 費
東京六稜会★主 催
松本邦宏@70期/太田省三@77期★事務局



第56回■黒飛一志さん@108期
「僕らが社会のためにできること
～子どもたちをUSJに招待する
チャリティーを通じて」



第57回■坂本知美さん@109期
「世界すてき発見!」



第58回■国定浩一さん@71期
「日本経済あれこれ～
阪神ファン式人生の法則」



第59回■上田成之助さん@80期
「京阪中之島線の完成と
大阪・京都の鉄道ネットワーク」



第60回■栗原奈名子さん@87期
「ブラジルから来たおじいちゃん
～ドキュメンタリーの愉しみ」



第61回■尾崎有紀さん@113期
「生き物の楽しさ～ダーウィンが
解けなかったフジツボの謎」



第62回■樋口庄司さん@69期
「いよいよ始まる裁判員制度」

2008 年
9 月
September

10 月
October

11 月
November

12 月
December

2009 年
1 月
January

2 月
February

3 月
March

第69回■藤江俊彦さん@77期
「安全・安心と組織のリスク
マネジメント」



第70回■島本慈子さん@82期
「戦後生まれが考える
戦争のこと」



第71回■阪田雅裕さん@74期
「政府の憲法9条解釈について」



第72回■杉尾伸太郎さん@67期
「フランス・フォーマルガーデン
の成立」



第73回■辻 孝夫さん@80期
「新技術とビジネスモデルの変貌」



第74回■清谷哲朗さん@89期
「日本の医療を考える」



第75回■西尾大次郎さん@66期
「四国のお遍路1200キロ」



六稜トークリレーは60回を迎えました。これまでに、延べにして4,389人の方が参加くださいました。たった一度だけの参加という方が1,446人いて、2回以上参加の方が494人。この中には60回皆勤者も1人含まれます(スタッフですが(笑))。

各回の参加者数を見ますと、最大動員記録は第37回(2006年12月2日)の211人で、ミクシ社長の笠原健治さん@106期の講演でした。動員が一番少なかったのは(まだ認知度も低かった初期の頃で)28人という回もありました。平均しますと、だいたい各回73人位になります。

今後も引き続きこの催しを盛り上げて参りたいと思いますので、同期会やクラブのOB・OG会で「ぜひこの人を講師に推したい」という方がいらっしやいましたら、係までお知らせください。

東京六稜倶楽部は昨年末で遂に満6年となりました。参加者の累計は3,565人に上ります。72回の会合で卓話者は延72人(初回と第2回が73期の奥村康さん。第13回が41期の中西實さんと53期の広江勲さんのお二人。中西さんは今年白寿を迎えられますがお元氣です)。そのうちには部外から参加して下さった方も8人おられます。俳優の牟田悌三氏、経済評論家の嶋中雄二氏、毎日新聞論説委員の松田喬和氏、元ペルー大使の青木盛久氏、ジャーナリストの寫信彦氏などの著名人も含まれています。しかもこの会の特徴は、卓話者は、部外の人といえども無報酬ということ。関西から高い旅費を掛けて卓話者として、あるいは聴講のため、参加していただいた方も何人もおられます。皆さんの奮ってのご参加をお待ちしています。

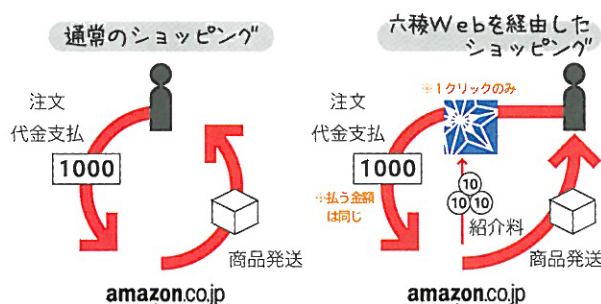
あなたのショッピングが同窓会への寄付になる!

ご存じですか?



インターネット通販大手のアマゾンをご利用の方は、まず初めに**六稜Webを経由してから**ショッピングするようにしてください。たったそれだけの手間で、購入代金の3%がアマゾン社から六稜同窓会へ寄付されます(「紹介料」という名目)。

さらに、皆さんの購入点数の合計が月に100を越えると、3%のレートは一気に5%にUPします!! 購買の輪が広がることで、チリツモ効果は意外なほど蓄積します。ぜひ、ご利用・ご協力・呼びかけの程お願い申し上げます。



遂に寄付累計10万円超す!

<http://rikuryo.or.jp/books/amazon-associate/>

●amazon.co.jp アソシエイト会計報告

	通算アイテム数	寄付額	累計額
【2005年】			
・第2四半期	179件	10,870円	10,870円
【2006年】			
・第2四半期	167件	15,286円	26,156円
・第4四半期	81件	6,097円	32,253円
【2007年】			
・11月	121件	7,495円	39,748円
【2008年】			
・2月	76件	5,456円	45,204円
・3月	65件	6,468円	51,672円
・5月	129件	10,591円	62,263円
・6月	63件	5,767円	68,030円
・7月	104件	12,535円	80,565円
・8月	88件	10,312円	90,877円
・9月	110件	9,534円	100,411円
・10月	89件	10,998円	111,409円
・11月	93件	8,546円	119,955円
・12月	93件	(14,677円)	

(カッコ内は未確定)



←六稜Webから、このボタンをクリックしてください。

六稜文庫

(12月末までのご寄贈受付分)

<http://rikuryo.or.jp/books/>

- 『山崎』 まえだりょう(105期)
- 『今日から始める救急外来トリアージ』 森下由香(94期)
- 『脳の進化は体から～言語及び老人、教育の問題点』 小竹正男(57期)
- 『いのちの籠・2』 中正敏(太郎兵衛/46期)
- 『あの日は再び帰らず』 三島佑一(60期)
- 『昭和の戦争と少女少女の日記』 三島佑一(60期)
- 『上方の愉快なお人形』 池田萬助(60期)
- 『日本の御人形』 池田萬助(60期)
- 『地震の揺れを科学する～みえてきた強震動の姿』 香川敬生(93期)
- 『ニュース一人旅』 徳岡孝夫(60期)
- 『大阪探訪 霞松原紀行 住吉の弟日娘を 知っていますか』 大井 康(67期)
- 『フランス文学小事典』 岩根 久(85期)
- 『歴史空間としての海域を歩く』 早瀬晋三(86期)
- 『未来と対話する歴史』 早瀬晋三(86期)
- 『ワインのひと皿』 若林三弥子(88期)
- 『枯尾花』 冬野すみれ(溝田泰子/73期)
- 『悟りの牛の見つかった～ 十牛図にみる関東と関西』 福井栄一(97期)
- 『茜雲』 久寄掬子(66期)
- 『白よ』 岸本嘉名男(68期)
- 『六稜バスケットボールクラブ創部 80 周年記念誌』
- 『六稜卓球部 OB 会会報 (創部六十周年記念号)』



書架増強!!

この度、みなさまから寄せられる貴重な著書を収納する書棚を増設いたしました。六稜会館にお立ち寄りの節は、ぜひ覗いてみてください。

また、これを機会にさらなる寄贈本の受付をいたしております。送付先は同窓会事務局「六稜文庫」係まで。六稜文化の集積に、是非ご協力ください。

パラグライディング世界選手権

日本代表:川上賢一さん@111期

パラグライダーというスカイスポーツをご存知だろうか？
エンジンなどの動力を用いず、大空を風だけで滑空する
競技で、ハングライダーの一種と定義されている。今年、メ
キシコで第11回の世界選手権が開催されたが、その日本代
表チーム(5人)に六稜人が、彼の名は川上賢一(ラグビー部
出身)。去年の暮れに、同期が主催する社行があるという
知らせを聞いて、本人に胸の内を聞くことができた。



逢って、まず驚いたのは、とても小柄な体躯だった。タックルでもされようものなら、ひとたまりもないのではないかと思われた。当時のポジションをスクラムハーフと聞いて、少なからず納得した。そんな彼が「空」と出逢ったのは阪大時代。ハング・パラグライディングサークルに所属した。先輩の多くがハングライダーに勤しむなか、川上は新しい競技「パラ」を選んだ。競技人口も少なく、彼は他大学や社会人の愛好家たちと率先して交流を持った。

パラグライディングは、山の斜面などを数メートル助走しただけで離陸する。あとは「上昇気流」をうまく掴んで高度を得、それを距離やスピードに変えて、滑空時間や距離、飛行コースや着地ポイントの精度などを競う。国家資格こそ必要としないが、民間航空規約では「航空機」に分類されており、単独飛行に際してはライセンス(技能証)が必要で、飛行技術に加え、航空理論・法規・気象学などの知識を必要とされる。

「空」に魅了された川上は、いつしかパイロットを目指すようになり、操縦士の国家資格にもチャレンジしたが、これは叶わなかった。結局、大学の専門を生かすカタチで三菱重工業に就職。名古屋の航空宇宙システム製作所で、ボーイング旅客機の主翼の設計に携わることとなった。

間接的ではあれ「空」に関連する職業に就いた彼は、3年間の勤務のうちに、ついに社内でハング・パラグライダー部を創設、初代部長に就任した。伝統あ

る大企業という組織の中で、「前例」のない取り組みには、さまざまな困難が予想されたが、それを川上はひとつひとつ慎重にクリアした。こうして彼は、まさに大手を振って「堂々と」(少なくとも後ろ髪を引かれる思いで「長期休暇を申請する」必要はなくなった)世界大会に出場する地盤を固めていったのだ。

また彼は、競技のうえでも着実に駒を進め、国内トップリーグの大会で昨年2度の優勝を果たし、日本選手権で準優勝の結果、JHF(日本ハング・パラグライディング連盟)国際大会選抜ランキング1位を獲得。1月23日からメキシコで競われる第11回パラグライディング世界選手権の日本代表に選出された。

隔年で開催される世界選手権には、世界40ヶ国から強豪150人が集結。約2週間のあいだ凌ぎを削る。個人戦のみならず、国別成績も競い合う…まさに「世界一」を賭けた最も大きな大会といえる。川上の海外大会への参加は中国・インド・オーストラリア・ドイツ・イタリアに続き、これで6度目。メキシコシティから100kmほど西南の山岳地帯で行われる。

「いま自分がここまで来れたのも、高校時代に身につけた文武両道の精神のお蔭だと思います。何事も最後まで諦めない…という六稜魂が、世界の檜舞台で日の丸を背負って飛ぶ…という大きな夢の実現の根底に宿っていると信じています」

(reporter: 谷 卓司@98期)

※本稿は、六稜WEBの「六稜NEWS」欄に掲載された記事(2009年1月1日)を抜粋したものです。皆さまのお手許に届く頃には、選手権の結果も掲載されていると思いますので、引き続き「六稜NEWS」にご注目ください。

<http://rikuryo.or.jp/news/>

第2回 行列の出来る就活相談所

西垣 弥生 (117期)

就職活動に不安を感じ、毎日憂鬱に過ごしていた私の元に、母校北野高校から「行列のできる就活相談所」なる案内が届きました。懐かしい友人に会えるかもしれない、そんな軽い気持ちで今回のイベントに参加しました。しかし、このイベントへの参加は、私の就職活動の羅針盤になったように思います。

会場では、先輩方が自身の経験から、ざっくばらんに就活の苦労話や仕事の話をしてくださり、私も、皆北野の先輩だという安心感からか、とても気軽に様々なことを相談することができました。今まで不安を感じていた私でしたが、「先輩達のようにもっと楽しんで就活してみよう」という気持ちになりました。

基調講演でのお話の中の「彼を知り己れを知らば、百戦して危うからず」という言葉と、先輩方の温かい励ましや助言を忘れることなく胸に刻み、これからの就職活動に全力で取り組みたいと思います。

今回、北野生同士の繋がりの強さ、優しさを改めて感じました。このような素晴らしい機会を提供して下さった諸先輩方には本当に感謝しています。



吉野 英知 (114期)

「行列就活」、第2回もおかげさまで好評の声を数多く頂戴しました。

イベントの内容は、前半は、就活支援サイト運営企業の担当者の講演。後半は、就職活動をはじめた大学生の「仕事に対する悩み」を、現在働いている若手社会人が、一緒に聞き悩み解決するフリートーク。合計4時間という長丁場でしたが、密度が濃い4時間になりました。特に後半は、学生の後輩 VS 社会人の先輩のガチンコトークで、会場中が熱気に包まれていました。

同窓会の中で、特にこうして若手社会人が目一杯活躍できる場、後輩に対して還元できる場を1つ創れたことは、嬉しい限りです。

就活生の健闘を祈りつつ、気が早いですが、今年も秋に「第3回行列就活」を開催します。大学生の皆さんは、熱い時間を共有しに来てください。

若手社会人の皆さんも、後輩のためにぜひ自分のお仕事を紹介しに来てください。

詳しくは
shukatsu2008@rikuryo.
or.jp まで。



Party Reports 1

●六稜卓球部創部60周年記念祭 歩み六十年 つながる広がる 君とのラリー

多田 充宏 (96期)



卓球部 OB 会は創部 60 周年を記念して、8 月 16 日（土）に 60 周年記念祭を開催しました。記念祭のプログラムは、午前・午後卓球大会を行い、夜に記念パーティーを行うというものです。以下にその様子をご紹介します。

【第 1 部】卓球大会（於 北野高校体育館）

朝からうだるような暑さの中、10:00 より卓球大会の開会式を行い、ダブルスのトーナメント戦を午前中に行いました。朝早くの開始にも関わらず現役、OB・OG 併せて 80 名強の参加者があり、熱戦を繰り広げました。昼ごはんまでにベスト 4 が出揃い、各年代が万遍なく残る結果となったことを見て、卓球は年齢ではないとの感慨を受けました。その後、六稜会館 3F の六稜ホールをお借りして昼食をとり、思い出話に花が咲きました。

午後からは、残りのトーナメント戦と各世代別チームによる団体戦を行いました。ダブルス戦優勝は、菅波・大石組（104 期）が飾り、団体戦の優勝もこの世代チーム（101～112 期）であり、かなりのパワーを見せつけられました。この後、

表彰式に引き続き、OB 会から 60 周年を記念して現役に卓球台と卓球マシンの贈呈を行い、小林力三（69 期）OB 会長より現役に目録が手渡され、寿部長（2 年）が御礼の言葉を述べました。

【第 2 部】記念パーティー（於 ホテルプラザオーサカ）

18:00 よりホテルに会場を移し、記念パーティーを行いました。開会の挨拶は六稜卓球部歴代顧問を代表して奈良先生にいただき、そのあと重内利明（78 期）記念祭実行委員長の乾杯の音頭で記念パーティーが始まりました。

会場には 170 名近くの OB・OG が集い、あち

こちで交歓が行われました。続いて、現在の卓球部顧問である出口先生からご挨拶、来賓の天王寺高校卓球部中森昌徳 OB 会長と石本正明北野高校校長先生からご祝辞をいただき、アトラクションのゲームへ突入しました。

今までにない豪華賞品に参加者一同、自分がもらえ

るのではと期待に胸ふくらませながら楽しんでおりました。これほどの人数が一同に集まることがないことから、記念祭副実行委員長の中田登志之氏（88 期）より今後の六稜卓球部 OB 会の方向性について説明がなされ、参加者の賛同を得ておりました。最後に閉会のあいさつを、名畑豊市氏（69 期）よりいただき、パーティーは終焉いたしました。

参加者一同、半世紀以上の長きにわたりクラブが存続し、このような記念祭を開催する卓球部・OB 会の結束の強さを改めて認識するとともに次代に引き継がれることを願いながら、帰路につくもの、2 次会に繰り出すものに別れていきました。なお、卓球部 OB 会ではこの日を記念して OB 会報（創部 60 周年記念号）を発行する予定です。

●北野中学・高校 バスケットボール部 創部80周年記念式/記念行事

丸山 眞 弘 (85期)

「横のつながりに加えて縦のつながりが大事だ」5年前の夏、北村(63期)、上野(63期)、岩田(64期)は、創部80周年の活動を相談していた。結果、80周年記念誌を作成し、記念行事を開催することが決まった。

5年の間に多くのOB、OGが準備に参画し、2008年11月3日(祝)に記念式/行事は、開催された。

1. 80周年記念誌

80周年記念誌の作成には、上野(63期)が編集長になり、各年代のメンバーを動かした。各世代からの参画者が増えることにより、記念行事にむけた意思結集ができた。この準備の段階でたくさんの「世代間ネットワーク」が作られてきていた。

2. 親善試合

毎年11月3日には、現役とOB、OGとの試合が実施される。この試合で若手OBに対してしっかり勝つことが、現役の今後の自信に繋がる。



今年も現役に期待がもてる内容だった。

3. 昼食会

試合の参加者、観戦者が集まり、懐かしの食堂での昼食。現役のプロフィール紹介やOBからの激励を聞きながら楽しい昼食をとった。

4. 記念式(北野高校 多目的ホール)

往年のライバル4高OB会代表、石本校長などの来賓の方々に参加いただき、正岡会長(63期)の挨拶で記念式は始まった。長年にわたりOB会の活動に貢献いただいた小石(53期)、堀江(54期)、岩田(64期)に感謝状と記念品を贈呈。

この80周年の記念として現役には、ユニフォームと応援横断幕を贈った。男子には「覇気」、女子には「六稜魂」の文字の入った横断幕、現役4人によるお披露目には会場から大きな激励の拍手が送られた。

最後は、約200人の参加者全員による写真撮影で締めくくった。

5. 記念パーティ(ホテルプラザオーサカ)

場所を変え、和やかに楽しく記念パーティが開催された。パーティのなかでは、坂野(72期)、稲垣(71期)によるハワイアン演奏、踊りが披露され大いに盛り上がった。

締めは、校歌の大合唱により世代を超え心がひとつになった。

■今回の記念行事では、バスケットボール部80年の歴史のうち「53期から123期までの70年を繋ぐこと」ができた。まさに「横に加えて“縦”の繋がり」を体感し強化したイベントであった。

(文中では、敬称を略させていただきます)

◇バスケットボール部80周年記念誌を希望の方は、同窓会事務局にご連絡してください。



「旧プールは竹筋プールであった。戦争中の大変な状況の中で在校生が掘った」水泳部OBの間で語り継がれ、百年史、百二十年誌、百三十年誌に記載されてきた事実。水泳部出身者にとっては懐かしく、それ以外の卒業生からはトラウマになるほど恐れられた巨大なプールがどのような経緯で作られたのか…以前から詳しく知りたい内容であったが機会が無かった。ところが意外なところから自身がその歴史を探ることになってしまった。

思えば昨年初め、六稜WEBのワールトアイ連載『太陽電池と「低い国」と～民間企業研究者の海外転職記』の中で、水泳部OBの小松雄雨さん（97期）が「昭和16年のプール竣工の逸話については六稜水友会（水泳部OB会）関係者から寄稿頂く予定です」と書いたことに始まる（第19話「国民皆泳～オランダの場合【前編】」）。これが水友会の幹事会でも話題になり、誰が調べて書くんだ？とか、OBの誰に話を聞こうか…と悩んでいた。

そうこうするうちに小生は六稜会報を編集する広報委員長となつてしまい、この「歴史」を自らの手で何とかまとめ、会報に掲載しなくてはならない立場になってしまった。もうなりふり構わず先輩に聞くしかない。

そんな折、参加した8月のトークリレーで、60期の三島佑一さんが「北野の暗黒時代～戦火をくぐった精神遍歴」というテーマで講演された。ふとその講演の合間に「この中に『竹筋』の旧プールを掘った…という方はいらっしゃる



写真提供 澤田幹雄さん（61期）

プールのルーツ

Legend of Kitano 50m Pool

しゃいますか？」と尋ねたところ、なんと会場の参加者から多くの手が挙がり、いろいろな話題が飛び交ったのだ。「やった！これで何とかなる…」。

このとき名乗り出て頂いた58期～61期の皆さんに11月1日、改めて六稜会館にお集まりいただき、六稜水友会関係者を加えて当時のお話を拝聴する機会を持つことができました。

当時の貴重な写真や各年誌の記事、手記などを皆さんが持ち寄り、またそれまでに集まっていた写真をプロジェクターで投影しながら記憶を辿って語ってもらいました。次から次へと

てくる話は本当に貴重な体験談・歴史だらけで、メモしきれない程でした。これらを基に今回の特集ページをまとめていただきました。

旧プールはその後、昭和46年（1971）に新プールへと姿を変えましたが、先輩たちが自ら掘って造ったという歴史は六稜の皆さんへ未来永劫、伝えて行きたいと思っています。ご協力ありがとうございました。

広報委員会（千種康一@88期）

※なお、とくに断り書きのない「水泳部写真」につきましては、六稜水友会・初代会長の甲斐武彦さん@61期（故人）にご提供いただきましたことを、この場で申し添えておきます。



◎座談会にご参加いただいた方々

58期：則松照也さん
59期：伊藤良彦さん、岡原進さん、高津 明さん
60期：池田萬助さん、大岩重雄さん、神島 稔さん、河野英通さん、中谷輝男さん、中原充雄さん

61期：澤田幹雄さん（六稜水友会）
64期：中井正明さん（六稜水友会）

96期：岡崎智一さん（六稜水友会）

◎寄稿・電話等でご協力いただいた方々

60期：太田元治さん
62期：宮本 勝さん（六稜水友会）

■則松照也さん (58期)

当時の授業料が4円60銭／年に対して、プール建設のための寄付が20円／口で、2口以上求められた。建設委員長は山根さん。

プールの建設予定地は農園だった。旧制中学の2年生は園芸（教科名は「作業」）の授業があり、作業科の高田先生（あだ名はウマさん）が名物先生だった。栽培したイチゴは持ち帰って良かった。



高田新作先生



戦時中は「遠泳」能力が求められた。コース通りには泳がず、プールをぐるぐる廻るように泳がされた。そもそもプール建設に学生が参加させられた目的は、勤労意欲を高めるためにあったらしい。

■伊藤良彦さん (59期)

防空壕掘りをしていたので、掘ることには慣れていたが、どこからか防水のための粘土を持ってきてタコ（右図→）で側壁を固めていくのが大変だったのを覚えている。



■岡原 進さん (59期)

北野は当時から体育に力を入れていた。1年

生は淡路島の江井に1週間合宿。4、5年生の水泳部の先輩が遠泳を指導し、1時間泳がされた。疲れて泳げなくなってくると、船の上から飴湯をくれたが、とてもきつかった。

農園を潰してプールを作るのに多量のセメントが必要だったが、戦時中に「プール」などという絶対に入らない。当時の校長の手腕で「防火用水の貯水池を作る」という名目で申請した。教室前のバケツに水を貯めておくのが防空委員の仕事で、プールはこの水を貯めておくために作る…ということになっていた。

掘った土を盛り土にして作っていき公式のサイズ(25m×50m)にした。5年生(57期)は試験で作業を免除され、4年生(58期)は体よくサボっていた。3年生(59期)が一番掘らされたのに残念ながらあまり泳いだ(利用した)覚えがない。

■高津 明さん (59期)

掘った土を積み上げていく作業が大変だった。およそ50cm³の粘土を使って側壁と床面を作っていき、最後のコンクリートで固めるところ



▲昭和20年頃の水泳部

ろは業者に依頼した。『北野中学の憶い出』（1985年59期発行）の小林富美彌氏の手記によれば、主筋は棒鋼で、副筋は割り竹になっており、深さは東が1mで西が2.8m。茨木中学に名選手がいた。

■池田萬助さん (60期)

水泳部といえば、57期の吉川さんを思い出す。府立医大から回生病院に入られ、神戸市の衛生部長をされていた。

プール工事は西松組と学生で行った。北浦氏の父が市議員だったので実現した。完成は昭和18年。7月31日に水入式、8月1日～10日は水泳訓練、8月9日が竣工式（総工費7万円）。1970年に水漏れが発生し翌1971年に現在のプールが完成したが、この時、竹筋を使用していた事実が明らかになった。

■大岩重雄さん (60期)

当時、茨中也公認プールを持っていたので、茨中に負けるな！！と頑張った。セメントをかき集めるのも大変だったが、タイルもなかなか集まらず、銭湯用の15センチのタイルを使った。平石先生が

「砂をプールに持ち込まないよう」口うるさく言っていた（これは、校内が裸足だったため）。

当時の制服は国防色で、ポケットはなく、名札に血液型を記載。ボタンは金属不足のため陶器製。戦闘帽とゲートル(海軍式の白ゲートルがみんなの憧れだった)。

1年の末から掘った。記憶はぼちちりあります。先輩が掘り土をモッコ(→右図)に入れてくれるので、それを運んで積み上げる作業がメインだった。八尾の飛行場や和歌山の防空壕掘りの時は辛かったが、北野のプールの時は先輩が優しくしたので楽だった。

園芸用の農園だったので、良質の表土は服部緑地に運んで、芋作りに供した。岡崎牧場に牛糞をもらいに行ったりもした。



▲第1回校内水泳大会(昭和18年)

当時の水泳大会は、50m、100mのクロールと平泳のみで、名物は50m×50人の学年対抗リレーだった。因みに、当時の1学年の生徒数は300人程度。50m潜水に必要な肺活量は6000cc程らしいが、グライダー部の関野さんが潜水で優勝したのが話題だった。

■中谷輝男さん (60期)

シャワーがなかったため、鉄パイプに水を通して、開けた穴から出る水を浴びていた。プール内壁のタイルは半分だけ使っており、先輩が建材屋から調達した。

公式の公認プールとするため、扇町のメートル原器を25倍に伸ばした巻尺を用い、湿度の基準も満たす条件下で冠水時の誤差が5mm以内ならOKということだった。



■神島 稔さん (60期)

1年末～2年にかけて、プール掘りと土運びばかりしていた。作業科のウマさんと先輩が大八車で服部緑地まで表土を運んでいた。プールが出来てからは、好きだった「作業」の時間がなくなってしまい、寂しかった。

そもそもプール建設の経緯は、北野の「農園」部分が市の道路計画に抵触するおそれがあったので、この農園を防火用水池(プール)に変えることで学校の敷地を守ろうという案が出た(らしい。水鳥先生談)

■河野英通さん (60期)

1年の冬休み中に呼び出され掘土をモッコで積み上げる作業を休み返上でさせられた。1年生は身体が小さいため掘り作業はできなかった。

水泳で有名だったのは、60期で水泳部の今永さん、57期の水泳部のリーダー吉川さん、井田謙三郎さん。

■中原充雄さん (60期)

掘った記憶はなく、専ら勤労奉仕に行かされていた。竣工式の日にはプールサイドに並んだら、地震があったのを覚えている。

『北野中学の思い出』に小田欣治氏、後藤良威氏、西久保恒雄氏、小林淳一氏、小林富美彌氏がプールについての話を寄稿されている。

■中井正明さん (64期)

昭和21年に北野(旧制中学)に入学。23年に卒業だったが、この年に新制高校がスタートしたためそのまま持ち上がった。昭和27年に北野高校を卒業した。

60期は入学式でプール建設の寄付金を回収された。なお、当時の平均月給は80円。



▲昭和20年の水泳部

■今永恭四郎さん (60 期)

【水泳部の歴史】北野の水泳部のリーダーは 57 期の吉川氏であった。そのスピードは皆の尊敬を集めていた。兄、今永 (井田) 謙三郎も水泳部に在籍していた。しかし、学校にプールが無いので甲子園の公営プールで練習していた。

北野の水泳部が弱いのは、学校にプールが無いからだと揶揄されていた。学校としてもプールを作りたく、防火用の水槽を兼ねるなどと理屈をつけてプール建設の許可をとった。水泳部長は太田秀男先生。

【全校水泳大会】プールが完成した昭和 18 年の夏に全校水泳大会が開催された。種目は 50m と 100m、平泳ぎと自由形 (当時はクロールと言った)。学年ごとの個人対抗戦のほかに、1 年生から 5 年生まで各学年毎 50 人の選手を選び、学年対抗 50 人リレーというのがあった。

戦時下のことで「国民皆泳」のスローガンのもとに、水泳人口の増加をはかるためである。学年別であるから当然上級学年が圧勝しそうなものであるが、1 学年 300 人のうち 50 人も出せば玉石混交、ひとり 50m ずつ合計 2,500m の間には思いがけない大接戦を演じたものであった。

自由形 50m に出場した 60 期生は、伊勢武夫、伊賀敬、今永恭四郎、植房次郎、藪本和夫、吉川正などであった。この他 60 期の水泳部員には奥野博正、加島融、高村善三、日高成、松村隆夫、吉岡一などが居た。

【潜水泳法】平泳ぎのときに、水面に体を出さず、潜水したままで進むと抵抗が少なく好記録が出るとは早くから知られていたが、50m を進

むには肺活量 6,000cc を要すると言われ、一般には 20 ～ 30m 程度であった。1936 年ベルリン五輪の金メダリスト葉室鉄夫氏の教えによって猛練習を重ねた古川勝が 1956 年メルボルン五輪で 50m を潜水のままで進み、金メダルをとったことから国際ルールが改正され、潜水泳法禁止、1 ストローク中 1 回頭を水上に出さねばならないことになった。

北野の水泳大会で 50m を潜水で泳ぎ切る人があったが潜水泳法の先駆者と言える。

■太田元治さん (60 期)

第 2 次世界大戦の真只中、物資不足の折のプール建設は「防火用水を貯めるため」という事で許可が出たと聞いています。府立中学の中には公認プールを持っている處もありました。が何れも 25 m です。「50 m の公認プールは北中だけだ」と水鳥先生 (通称ボウズ。森繁久彌も習った英語の名物先生) が得意気に話していたのを憶えています。

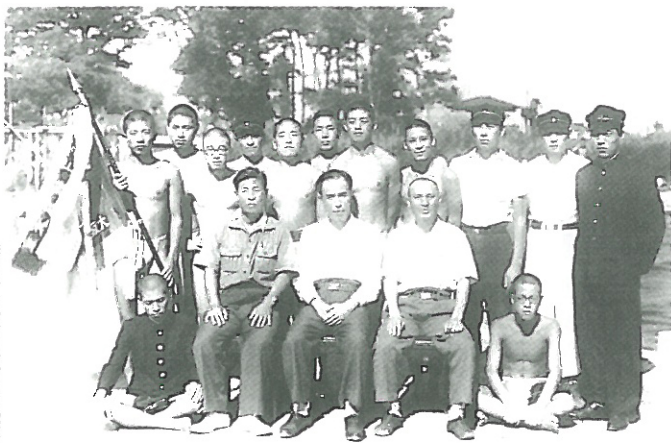
建設費用は生徒の父兄からの寄付金です。大阪府から予算が出たか否かは知りません。1 口何円であったか何十円であったかは忘れましたが、当時「国債」でも OK だったので我が家の親も国債で応募してくれたのを憶えています。

建設請負は確か「西松組」(今の西松建設?) だったと思います。私達 60 期に西松基晴君が居て、西松組の息子であったと思います。多分、そんな関係で建設出来たのかも知れません。

作業は私達もやりました。工事代金を節約する為です。体育の授業の時は殆んど土方作業に従事し、モッコに土を入れ、2 人で担いで土運びをしました。そのお陰かどうかは判りませんが、私達 60 期生の大半は、勤労働員で貯水池掘りや、防空壕掘りに駆り出される事が多かった様に思います。

戦争中の作業ですが「自分達のプールを自分達で造る」という意

水鳥元平先生



写真提供 今永恭四郎さん (60 期)

事務局だより

平成20年度年会費 納入状況について

2008年12月末現在での
会費の納入率は18%です。
納入率の最も高い期は、例
年通り65期で47%の方が
納入されています。次いで
61期、60期、73期、68期、
66期、57期、62期、70期の順となっており、
例年の傾向と同様で、これらの期はいずれも
40%を越えております。

しかし、98期から117期までの期は 依
然10%に満たない状況にあります。昨年の
同時期には10%以下であった97期は、今年
は12%になっています。

納入が未だの方は、会報に挟み込んである
払込用紙で、ゆうちょ銀行かコンビニかの用
紙を選択して、納入していただきますようお願いいたします。尚、最近の年会費の納入状況は六稜Webの同窓会事務局のページに掲載しています。

理事会報告

■2008年9月29日開催

- 135周年記念総会の準備報告
- 135周年記念名簿発行の進捗状況
- トークリレーの予定
- F R委員会の活動報告
- 行列の出来る就活相談所の案内等
- 東京六稜会の活動報告
- 全国大会、近畿大会出場激励金と結果報告
- 同窓会初の後援事業「大原御幸異聞」の公演報告

<http://rikuryo.or.jp/office/>

▼昭和24年頃の水泳部



気込みのようなものがあり皆一生懸命作業をしたと記憶しています。

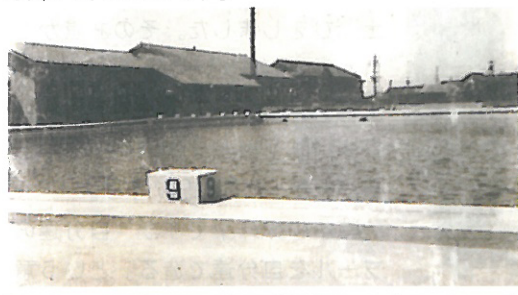
それだけ完成した時の喜びは一入だった様です。プール開きの時だったか、古式泳法等が披露され、初めて見るその優雅さに驚きました。

当時の小生は金槌に近かったのですが、このプールの完成のお陰で泳げる様になり、100m、300m、1000mと順次テストに合格した時の嬉しさは忘れる事は出来ません。1000mは50分間プールをぐるぐる泳ぎ廻るのです。水から上がった時の体の重さに驚いたのも昨日の様な気がします。

金槌組は白い水泳帽。100mに合格すると赤線1本、300m合格は2本、1000m合格は黒線1本が白い水泳帽に入るのです。先輩達は、プールのない時、海で遠泳をし、3km、5kmと泳ぎ黒線が複数本入っている人が居ました。師範代は黒帽だった様に思います。

折角造ったプールで泳げたのも2年迄か？3年は動員で出掛ける事が多かったように思います。小生宅はS 20年6月1日（北中の創立記念日）に第2次大阪大空襲で焼け出され、岡山へ疎開した為、プールが防火用水として役に立ったのかどうか知りません。

近年新設されるプールを見る度、我々が完成させた？プールを思い出しますが、思えば随分粗末だったと思います。でも当時、あのプールは輝いていたのです。



Party Reports 2

●創刊以来 はじめて「六稜新聞を懐かしむ集い」に仲間22名

島村俊行 (66期)

鶴田俊雄 (66期)

11月16日(日)母校が望めるホテルプラザオオサカのロビーには「六稜新聞部」のバッジをあしらった名札を胸につけた仲間の「オオ」「ヤー」の声が飛び交い、旧交をあらためる輪がひろがった。



“六稜新聞が消えた”と六稜会報で知って久しい。新聞部はさまざまな事情で2002年ごろから休部状態にあるという。たまたま出会った同期で新聞部の仲間だった鶴田俊雄と島村俊行が当時のことを懐かしんで「新聞部の足跡を確かめる機会がもてればナ…」と言い合ったのが、ちょうど1年前のこと。

だが、六稜新聞部OBの名簿づくりからはじめなければならなかった。同じ部室でなじみの64期の山家健一、65期の八木(旧姓前田)光子に加わってもらった。同窓会名簿の活用はもとより、母校で卒業アルバムのクラブ別の写真をコピーしたり、わかってきた元部員に照会も出した。突然の手紙に驚きながらも、先輩たちから寄せられた仲間のくわしい消息はありがたかった。平行して、母校図書館で調査し、過去の発行を総覧できる「六稜新聞の歩み」の資料作成も進めた。

会は、集まれるものが気楽に集まるものにしようということになり、その名も「六稜新聞を懐かしむ集い」。当日、確認できた48名中、22名の参加を得た。

まず、全員が母校に出向き、正門で旧校舎のモニュメント「北中」に再会、新校舎・六稜会館の見学、メモリアルウォール(弾痕)・殉難碑の前ではしばしたずんだ。

ホテルにもどり、開会に先立って、この集いの経過報告があり、全員で物故者に黙祷をささげた。山家の開会あいさつ、「創刊号」にたずさわった生島幹三(60期)の乾杯の音頭で開宴。新聞部の基礎固めに貢献した赤松英幸(61期 千葉在住)、



中高通じて5年間活躍した岡佑光(64期)、途中で大手前に移った杉本時哉(62期 東京在住)、北村(旧姓山森)実佐子(64期)など68期までの参加者が「六稜新聞」にまつわる思い出や近況を語った。車いすで参加の原壽治(62期)が再会の喜びを述べられたのは感動的であった。瓜谷清広(66期 横浜在住)は東京六稜会のことも伝えてくれた。最後に、岡原進(59期)が準備した伴奏テープに吉栖勇(62期)がリードして「北野高校校歌」の大合唱、八木の閉会あいさつで、飲み食いおしゃべりの「六稜新聞を懐かしむ集い」は再会を誓いながら幕を閉じた。

これを読まれて「自分も新聞部だった」という方は六稜同窓会に申出でしていただくと幸いです。

(敬称略)

●六稜六四会2008

東野(氏家)章子(64期)

堂島の“中央電気倶楽部”へ強い陽ざしの中を歩きながら、今日は黒っぽい冬の制服が一斉に白いシャツにかわり教室が明るくなった「衣替え」の日だったと気付く。

会場の受付デスクの周囲には、もう陽気な笑顔と賑やかな話し声。

年々記憶力の衰えを感じ(私だけかも?)笑顔の胸元の“名札”を恐る恐る見つめて「あ、…さん、お久しぶりです!」

すぐに、教室で机に向かっていた姿、運動場での汗のにおいのするユニフォーム姿などが鮮やかにフラッシュバックするのが五十有余年たっても青春の





一時期を共に過ごしたお仲間との再会の醍醐味！

中井正明さん

「なにわことば」研究のベテラン、中井正明さんの軽妙な開会の挨拶につづき、他界された友人達を静かに追憶。

今回も変らずお元気な石田千代之輔先生のお話、身ぶり手ぶりをまじえての講義と黒板の綺麗な数字に見とれた数学の時間が蘇る。

乾杯で始まる立食パーティー。石田先生を中心にグループにわかれてフォトアート社代表、山口茂氏による記念撮影のなごやかな笑い声に浸りながら、会場では会えなかった友人達の「近況」を壁に貼り付けられた返信はがきで拝見…ご家族の介護、ご自身の体調不良、と同じ年月を歩んできた道のりを感じる。

川島 弘さん

歓談のトリは川島 弘さんの指揮で校歌斉唱。最後に、学年副理事、北村英佐子さんの挨拶でお開きとなった。楽しい一刻の何と短く感じられること！



東京、大阪で盛況のうちに「大原御幸異聞」の公演を打ち上げ、来春「通い小町異聞」の上演に意欲を燃やされる土井陽子さん、体調のトラブルを克服して、秋にはシャンソンのリサイタルを計画される川島弘さん、今回も力強い見事な筆致で、「紅葉マーク」のおまけつきの横断幕を作製された下和佐義輝さん…「好機」をものにし、「好奇(心)」にあふれた“酉”年と、それに続く“戌”年の「六四会」の学友達(今回の出席者：男性63名、女性25名)から“元気”を分けてもらって、再会を楽しみに名残惜しい会場をあとに。

終わりに、ご自身の体調に不安をかかえ乍らも、会の準備、進行とお世話くださった岩田さんをはじめ、幹事の皆さま(東、足立、荒木、今中、片寄、川島、楠本、中井、岩本、河淵、北村、土井(敬称略))本当に有難うございました。

河 淵 (河野) 清子 (64期)

【後記】酸素ボンベ同伴？で会場入り、この会の

後「水泳部OB会」にも出席した司会役の中井さん、入院中の病院から駆けつけた会場係の東さん、後半、中井さんを氣遣ってマイクをバトンタッチ、術後のハンディも見せない万年青年の岩田幹事長(ニックネーム：マゴジャン)、案内はがきや当日のプログラムまで一手に引き受け黙々と仕上げた今井さん、岡山から一番列車で乗り込み受付を仕切った楠本さん(ニックネーム：エントツ)、受付で宴会もそっちのけで金庫番を固守した常任会計係の荒木萬治さん…etc. 皆さん六四会愛に燃えた方ばかりです。

思えば昨年から、3回にわたる幹事会で入念な打ち合わせを経た本番でした。日取りと場所の決定後、予算組み、会場側との打ち合わせ、文書作成・印刷係、司会役、受付係などの役割分担決めなど、幹事会でのこまごまの案件の取りまとめを、お体の不調をも顧みず鋭意努力実行された岩田幹事長には、この場をお借りして拍手とお礼の言葉を贈らせていただきますと共に、陰でサポートされた男性幹事の方々にもお礼申し上げます。そして及ばずながら幹事の1人としても、今回の総会をつつがなく終えれたことにホッとしています。

本原稿は51号に掲載予定でしたが、編集の不手際にて今回となりましたことを、おわび申し上げます。

広報委員長 千種康一

●北野高校第70期卒業50周年 記念同窓会を終えて

黒川 森 夫 (70期)

唐の詩人杜甫の曲江詩の一節に「人生七十古来稀なり」とあるように早いものでわれわれの大部分は数え70歳、いわゆる「古希」を迎える年月が経過したことになる。

思い出多き六稜の学び舎を巣立って50年という節目に、卒業時の8組、9組が当番に当り、昨年秋から19名の幹事団を結成、飽までも手造りの記念同窓会を目指して一年間必死の思いで準備してきた。

平成20年10月18日(土)当日は、朝から雲一つない日本晴れ、今中先生、野々村先生、浜田先生、福田先生の4人の恩師を筆頭に、海外から2名、四国、関東からも十数名、総勢112名出席という今だかつてない大盛況に幹事団ほっと胸を撫で下ろす。



午後1時より六稜会館を見学した後、第1部として午後2時、六稜会館3階ホールで総会、講話、オカリナ演奏と続く。特に、オカリナ演奏では同期生にその奥方も加わって日頃の練習成果を披露、大喝采を博した。昔懐かしい曲のうち数曲は会場全員で合唱、大いに盛り上がり、アンコールの声で「六甲おろし」の大合唱となり、フィナーレを迎えた。

午後5時から第2部のホテル阪急インターナショナルでの懇親会に移行、恩師の紹介、海外組を含めた遠来者のスピーチがあり会場は次第に盛り上がる。次に、ステージショウと銘打ってジャズ歌手とのど自慢の同期生とのジョイントがあり雰囲気は最高潮に達した。最後に全員起立して校歌斉唱とエールで大盛況のうちに余韻を残して閉宴となった。

二次会は、大半がホテル内のバーに集結、尽きぬ昔話に明け暮れ、更には場所を変えて元気者多数が三次会のスナックへと繰り出したと聴く。

これまで70期は、二つのクラスが輪番で当番となり毎年同期会を開いて来たが、今回はその集大成ともいふべき50周年記念同窓会にそれまでに培った70期全体の万全の協力体制と強力な団結力が遺憾なく発揮された実例と言える。

●第71期第30回同窓会開催

岸本博充 (71期)

恒例の71期同窓会(懇話会)が平成20年5月24日、大阪梅田新道フェニックスタワー27階のレストランで開催されま



した。

今回の話題提供者は、正直亭黄門師匠(71期の水野宏之さん)で落語の一席と落語に関するお話、小噺を提供してくれました。参加者は54名、落語を楽しみながら旧交をあたためました。来年(平成21年)は卒業50年記念になる同窓会にすべく再会を約束し散会しま

した。

第71期 卒業50年記念同窓会 開催について

毎年、懇話会の名目で71期同窓会を開催しておりますが、今回北野高校卒業して半世紀(50年)になり、下記のとおり記念同窓会を計画しました。

卒業20年から、その後は5年ごとに記念同窓会を続け、平成21年は50年目ひとつの区切りとして開催します。ご参加をお待ちしています。

日時:平成21年6月7日(日)～8日(月)

場所:グランドエクシブ浜名湖(浜松)

●97期同期会

稲本 望 (97期)

2008年8月10日の日曜日、六稜会館にて97期の同期会が行われました。

2007年8月にも同期会があり、学年全体が集まったのは卒業以来で盛り上がりました。来年も集まろうという話になり、幹事に半ば強制的に指名されてしまいました。E-mailやmixiなどで連絡は容易になりましたが、それでも500名を超える同級生に連絡するのは大変であることを知りました。今回は在校時代にお世話になった先生にゲストに来ていただこうと企画しました。体育の松下先生と、化学の猿田先生にお越しいただきました。同級生は日本全国から120名ほどが集まり、盛大な会となりました。

津川君の名司会(迷司会?)で進行。近況報告やアンケートで大いに盛り上がりました。

松下先生や猿田先生の当時のエピソードは面白く、楽しい学生時代が思い出しました。松下先生は当時のニックネーム(書けません)で湧き上がり、厳しかった水泳の授業や秋まで泳がされていたことが紹介されました。猿田先生は成績の芳しくない生徒に厳しい直言をされていたことが判明



転出する前に第一回同期会を開き、爾来、3年に一度の同期会を定例としています。

こうした取組みが六稜同窓会の「はじめての同期会プロジェクト」となり、112期以降の後輩のみなさんは卒業4年目で同期会を立ち上げ、そのための通信費などは六稜同窓会

しました。私事ながら、私の親も絶対に大学に合格しない、と言われたそうです・・・

海外在住の人からも連絡があり、97期は世界レベルで活躍しています。何年経っても楽しく話せる友達を得たことは北野高校に進学した大きな財産だと思います。

2009年は8月16日、日曜日に開催予定です。

同期の皆さん、同窓会館、事務局運営のためにも会費は納入しましょうね。

●111期同窓会のご報告

学年理事 松岡 信道 (111期)

平成11年111期卒業。

私たちは「1」並びで縁起のいい同期です。

2008年12月30日、卒業10年という節目を迎える新年を前に、同窓会をすることになりました。とはいっても、私たちはとても仲のいい学年で、10年ぶりに同窓会を開いたわけではありません。現役で大学に進学した同期生が、就職して全国に

から補助されているそうです。

やはり「1」番に縁のある学年です。

さて、当日は130人を超える同期生が集い、とても楽しい時間を過ごすことができました。卒業から10年が経過すると、同期生同士の新婚カップル「1」番乗りが誕生していたり、パラグライディング日本「一」で世界選手権の日本代表が誕生していたり、にぎやかな話題で持ちきりでした。

在学中から仲の良かった友達はもちろんですが、在学中はお互い知らなくても、卒業してから仲良くなれるのが六稜生の良いところですよ。今回も新たな出会いがあって、嬉しかったです。毎回参加している人、今回はじめて参加した人、みんなが楽しめる同期会であったと思います。

しかしながら、10年の歳月が経つ間に、連絡がまったくとれない同期生が40名にのぼり、同期卒業生の「1」割を占めるようになってしまいました。こうした事態を重くみて、各クラスの中で幹事を決めなおす時間をとったりもしました。そして、これからも同期の強い絆を守っていくために、同期会の代表を池田直弘さん、副代表を植

西智彦（旧姓佐々）さん、小財紀子さんが務めてくださることになりました。会報をご覧の同期生のみなさん、連絡先の変更は六稜同窓会事務局へ届けてください。

「1」との縁がある111期生。卒業11年となる2010年11月11日は、個人的に同期生と過ごしたいと思っています（笑）また同期会でお会いしましょう。



●はじめての同期会

日 野 幸 香 (117期)

2008年12月28日、117期第1回同期会を行いました。

事務局の方々、同期のみんな、たくさんの方々のご協力の上で最後までやりきることのできた同期会でした。

私が、同期会の中心となったのは、名簿の校正作業のお手伝いをさせていただいたことがきっかけでした。ここで、FR委員長の田村さんと知り合い、お声をかけていただきました。

校正作業に参加したことを始め、一緒に作業したメンバーの中に同期の勝田くんがいたこと、同期会に動きがないので二人で進めてもらえないかと話をもちかけていただいたこと、すべてが偶然の重なりでした。



そこからは、時間のない上に何から手をつけたらいいのかもわからず、あっという間に本番が近づくといい印象でした。

私たちは、先輩方にお話を伺ったり、友達にアドバイスをもらったり、たくさんの人たちに助けをもらいながら少しずつ準備を進めていきました。

気がつけば本番は目の前で、当日まで準備に追われる形になり、同窓会事務局の皆様にはご心配をかけてしまい、準備を手伝ってくれた同期の友人たちには的確な指示が出せず、迷惑をかけてしまいました。

完璧には程遠い同期会だったけれど、終わったあとのみんなからのありがとうは本当にうれしくて、4年後もこれからも同期で集まっていけたらと思います。

今回の同期会を通して、改めて北野高校のつながりの強さ、素晴らしさを実感しました。

私たちも自分たちの同期会の準備、本番を通して感じたこと、改善点など、後輩に伝達していこ

うと思います。後輩の同期会がよりよいものになるよう、少しでも力になればと思います。

最後になりましたが、突然のお願いにも快諾してくださった先輩方、同期の仲間たち、そしていつも気にかけてくださった同窓会事務局の皆様、本当にありがとうございました。

また、参加してくれた先生方や同期のみんなにも心から感謝いたします。

大変貴重な体験となり、忘れられない同期会となりました。

4年後も楽しみにしています。

勝 田 敬 志 (117期)

僕が初めて117期同窓会の現状を聞いたのは昨年8月の末頃でした。先輩方から話は聞いていたため、同窓会の存在は知っていたのですが、「誰かがやってくれるだろう」といったどこか自分には縁遠いもののようなイメージでした。しかし、バイトとして黙々と同窓会名簿を校正する僕と日野さんに、事務局の久保田さんが語った現状は余りにさびしいものでした。「え、あんたらの学年はないよ。誰もこっちと連絡取れないし。」

2人でとりあえず驚きの声を上げた後、「誰もやらないならやるか」といった安請け合いで代理の同窓会委員をやることになりました。事務局の方々から話を聞き、最初の課題は手伝ってくれるスタッフを探すことだと発覚したのですが、この最初の段階でもなかなか苦労しました。15人集まれば御の字だと思っていたのですが、有志のみなさんの予定が合わず、1回目の会議に集まったのはわずか6人でした。

しかし少数精鋭とはよくいったもので、少ない人数でも準備は着実に進んでいきました。それでもスタッフの数自体が少ない上、全員の予定がなかなか合わず、会議すらまともに開けなかったため、当日の開幕直前まで全員で慌ただしくしていました。今考えると逆にいい思い出だったなと勝手に考えていますが、来ていただいた先生方には大変失礼を致しました。

同窓会そのものも、クラス対抗で行ったゲーム大会や、ビンゴ大会など、多くの参加者に注目して頂き、楽しんでもらえたようでうれしく思っています。続く2次会も懐かしい話がたくさんで、

貴重な時間を過ごすことができました。

僕は今までの短い人生を振り返っても、今回のような責任のある立場は避けてしまっていたように思います。今回の同窓会はただ楽しめただけでなく、これを通じて自分自身が一步成長できたと感じ、大変有意義なものであったと思っています。様々なサポートをして頂いた、同窓会事務局の皆さんを始めとする多くの人々。ありがとうございました。こんな自分と最後まで付き合ってくれた青野さん、住田さん、仲居君、林さん、そして日野さん。本当にありがとう。

『はじめての同期会』とは社会人になる直前の期（現役の大学4年生にあたる期）が同期会を開催し、社会に出てからも六稜の交流を続けて頂きたいという主旨で5年前よりFR委員会が企画し、サポートさせて頂いております。

今回は企画側の予測をはるかに上回る約180名（117期の6割にあたる）が集まり、盛大に行われました。何しろ『はじめて』ということで幹事も不安と心配でいっぱいだったと思いますが大成功だったと思われます。

この仲の良い『同期の繋がり』を、そして『六稜の繋がり』を社会に出てからも忘れずに頑張っ

て頂けることを期待しております。
一昨年は116期が開催しましたので、今回そのノウハウを116期の幹事から117期の幹事に伝えて頂きました。今年も同様に117期から118期へバトンをつなぎますので118期の皆様も楽しみにお待ち下さい！

FR委員会委員長 田村 亘（103期）

●六稜クラブ対抗ゴルフコンペ ～20回大会はバレー部制覇～

バレー部 川畑年弘（88期）

10月5日（日）、数えて20回目となる六稜クラブ対抗ゴルフコンペが開かれました。舞台は恒例の三田カントリー27です。前日の予報ではなんとか空はもちそうだったのですが、当日は朝か

ら冷たい雨が降る悪コンディション。ゴルフ場まで来られた62期灰谷雅夫さん、63期北島源太郎さん（いずれもバレー部）がプレーを断念されるなど60期代のプレーヤーがいない大会となりました。参加チームは前回優勝の野球部にバレー部、卓球部、水泳/ハンド他の混成軍の4チーム。混成チームには同窓会の山本雅弘会長がキャプテン格で参戦されました。

クラブ対抗コンペは例年ハイレベルのスコアで争われてきましたが、今大会は降り続く雨と急な冷え込みという悪条件に「100叩きゴルフアール」が続出、波乱の展開となりました。結局30名の参加者（女性3名）のコンペで80台はゼロ、90台もわずかに7名という混戦となり、ハンディキャップに恵まれたバレー部チームが2年ぶり2度目の優勝という結果になりました。「優勝常連の野球部チームの大叩き」という幸運に恵まれた想定外の優勝としか言いようがありません。

優勝メンバーは71期の清水宏真、田中浩作、74期半田正克、87期高橋正直、89期豊島英夫、105期平田久仁明、109期の浅井一馬と小生の8名です。

そして準優勝は水泳/ハンド/器械体操/同窓会の混成チーム。個人戦では松岡五郎さん（水泳部 94期）が優勝されました。また、ベストグロスは予想通り（？）経験豊富な山本雅弘同窓会長（71期）でした。

20回目を迎えたクラブ対抗コンペ。90期代が6人、100期代も2人参加し、若い世代の参加が目立つようになりました。次回の幹事はバレー部です。「老・壮・青」交わって「和気藹々」としたコンペになればと思っておりますので、若手の更なる参加をお願いします。今年はきっと日本晴れです。

《チームスコア 上位5名のネットスコアの合計》

バレー	371.0	混成	375.0
野球	395.4	卓球	397.0

今年の期別対抗ゴルフコンペのお知らせ

第20回六稜期別対抗ゴルフコンペは
2009年7月26日（日）
三田カントリー27で開催予定です。

今年のクラブ対抗ゴルフコンペのお知らせ

第21回六稜クラブ対抗ゴルフコンペは
2009年10月4日（日）
三田カントリー27で開催予定です。



母校に還った六稜生

『北野の "change" !?』

社会(公民)科 的井洋二 (78期)

1970年に社会(公民)科教諭として教職について、2002年に6校目の転任先が、母校である北野高校であった。6年後の昨年の春に退職し、現在、再任用教諭として勤務しています。



78期生卒業アルバムより

いまの時代には、「change」することが求められているそうだが、30数年ぶりの北野高校は、在学時代とどう「change」しているだろうか。

まず、学区は、われわれの高校入学の年から5学区に再編されたが、9学区に分割された時代を経て、2007年度から4学区に統合されている。1963年、1学級55人、学年11学級、学年定員550名であった学校規模は、1988年の1学級48人、学年14学級、全体で42学級で定員2,016名を頂点として減り続け、現在は1学級40人、8学級の学年320人、全体で24学級960名と1,000名を切っている。かつては2:1であった男女比も、現在はほぼ1:1と同じくらいになっている。

われわれが高校時代を過ごした学校のたたずまいは、今や見つけ出すのも難しい。十三公園寄りにあったグラウンドは、旧本館などを撤去したあとに、淀川に向かって新校舎の南側に位置している(旧事務室前にあったみごとなツツジなどはもはやない)。3階に18の教室が並ぶ新本館校舎は、私が赴任した2003年に完成した。グラウンドに残されていた旧本館が切り刻まれて、撤去されるのを、授業をしながら眺めることになった。また、戦時中につくられた「竹筋」のプールも、50mの規模のまま1971年に改築され、体育館も1978年に落成している。2003年に校舎改築が終わり、セミナーハウス(講堂ではない)、十三公園に面して図書館や同窓会館が新設されている。食堂前の一部部室と、ツタのからまる西側の塀の一部しかわれわれが高校時代の面影は、残っていない。

行事に関しては、府下の多くの学校は行事の精選という名の下に減らすことになったが、北野高校では、在学時代と大きく変わっていない。5月の大手前との交流戦は球技大会に、6月の文化祭は六稜祭と名前を変えた(文化部中心から1・2

年はクラス参加が義務づけられた)が、ほぼ同じものといえる。まだ続いているのかと驚いた9月の全員参加の水泳大会、10月の体育大会は1年の騎馬戦、2年の仮装行列、3年の棒倒しなどがそのまま、2月の今年73回目を迎える1・2年の断郊競走も相変わらず、現役の生徒が取り組んでいる。遠足は年1回に減ったものの、われわれの時は常に自治会執行部の公約の一つとなっていた男子修学旅行も、われわれが卒業して3年後に認められた。それ以外に、2月には2000年から始まった文化芸術祭(音楽クラスの合唱大会、美術・書道、家庭科などの展示)があり、行事自体は増えている印象を受ける。

クラブに関しては、生徒数の減少にもかかわらず、運動部は、われわれの時よりも加入率は高く活動も盛んである。文化部は、オーケストラや部員数が3桁に近いブラスバンドを除くとやや低調であるが。ただ、部活動と学習の両立を求める「文武両道」なんて言葉は、余り聞かなかったような気がするが……。

数学と体育が出来ないと北野の高校生活が厳しいのは、現役の生徒にとっても同じらしい。水泳50m……、そういえば、われわれの時にはなかった縄跳びの二重跳びが課題として増えている。

現役の生徒を見ていて、もう少し学習をとくに「自学自習」をきっちり身につけて欲しいという思いがあるが、自分の能力をしっかり生かすことが可能な学校、それを可能にする学校であり続けて欲しいと願う。



119期生卒業アルバムより

母校の窓

■クラブだより

《運動部 (50 首順)》

サッカー部

現在、サッカー部は、2 年生 18 人、1 年生 13 人、マネージャー 2 人の計 33 人で活動しています。

<新人戦>

<定期戦>

天王寺 5 - 4

勝 所 × 2 - 0

<春季大会>

4/13 1 回戦 布施工科 4 - 0

4/20 2 回戦 日根野 0 - 6

4/27 3 回戦 北千里 × 0 - 0
(PK 3 - 5)

<秋季大会>

9/14 1 回戦 茨木西 0 - 2

9/21 2 回戦 渋谷 × 1 - 2

<新人戦>

1/11 1 回戦 枚方津田 0 - 3

1/18 2 回戦 関西大倉 × 1 - 4

バドミントン部

現在、2 年生 10 人 + 1 年生 11 人で練習しています。

月～水の朝練・火、木、金の昼練に加え、2004 年 9 月からは遂に放課後体育館での練習も始まり、部員一同常に上のレベルを目指しています。土日はコートに来てもらって、技術の向上に励んでいます。

また、たくさんの OB・OG の方々が練習に参加して下さっています。今後とも、僕達バドミントン部をよろしく願います!!

秋季豊能地区大会

【男子シングルス上級の部】1 位、2 位

【男子ダブルス上級の部】2 位

【女子シングルス初級の部】3 位

【女子ダブルス初級の部】3 位

第 63 回大阪高等学校夏季バドミントン選手権大会

【男子ダブルスⅠ部】ベスト 16

【男子シングルスⅠ部】ベスト 16

【女子シングルスⅡ部】4 回戦進出

第 62 回大阪高等学校春季バドミントン選手権大会

【男子ダブルスⅠ部】ベスト 16

【男子シングルスⅡ部】ベスト 8

【女子シングルスⅡ部】5 回戦進出

冬の大会

【男子ダブルスⅡ部】3 位

【男子シングルスⅡ部】ベスト 16

ラグビー部

<定期戦>

3/30 17 - 0 大手前

8/3 10 - 63 神戸 ×

11/6 0 - 77 天王寺 ×

<春季大会>

4/20 予選リーグ

12 - 0 門真西

33 - 5 合同 Q

19 - 0 茨城工科

5/4 決勝リーグ

17 - 17 大阪学院 (引き分け)

26 - 19 興 國

10 人制大阪府優勝

<秋季大会>

9/14 1 回戦 17 - 12 星 翔

9/21 2 回戦 6 - 52 関西創価 ×

<新人戦>

1/18 20 - 12 興 國 (県と合同)

7 人の 3 年生が引退し、現在は 2 年生 3 人、1 年生 3 人、マネージャー 2 人の計 8 人で活動しています。人数が少ないので、春まで摂津高校と合同チームを組んで活動していく予定です。比較的小柄なチームですが、試合に勝つことを目標に、最低でも週 2 回は合同練習を行い、ほかの日はそれぞれの学校で練習に取り組んでいます。来年は単独でチームを作れるように、たくさんの部員が入ってくれることを楽しみにしています。日ごろからラグビー部の活動を支えてくださっている OB の皆様ならびに保護者の方々に、この場をお借りして感謝します。今後とも応援よろしくお願い致します。

剣道部

★ごあいさつ★

私たち北野高校剣道部は 2008 年 12 月現在、1 年生男子 8 人・女子 3 人、2 年生男子 6 人・女子 3 人の 20 人で活動しています。今年 6 月に 3 年生が引退し、2 年生が中心となって活動するようになりました。試合は年に 3 回ある公式戦、そしてその他練習試合や招待試合等あり、特に由緒ある天高戦に加え今年は大手前戦も復活し、それらで好成績をとることを目標として日々稽古に励んでいます。夏には福井県武生市で 4 泊 5 日の合宿 (武生高校・北野高校) があり、みんなの結束がより固くなりました。これからも部員全員で士気を高め、まだ不安なところもありますが、さらに良い成績を残せるように稽古に励んでいきます。石川先生、先輩方、OB や OG の方々、今後ともご指導よろしくお願い致します。

★過去の戦歴★

インターハイ大阪予選

【団体】男子 3 回戦進出

女子 3 回戦進出

【個人】男子 A 1 回戦敗退

男子 B 1 回戦敗退

女子 A 1 回戦敗退

女子 B 4 回戦進出

大阪総合体育大会

【団体】男子 4 回戦進出

女子 3 回戦進出

天王寺高校定期戦

男子勝利

女子勝利

北摂大会

男子 3 回戦進出

女子ベスト 8

清教学園理事長旗争奪剣道大会

男子予選リーグ 1 位通過

決勝トーナメント 1 回戦敗退

女子予選リーグ 3 位通過

トーナメント 1 回戦敗退

硬式野球部

<部員構成>

部 員：2 年生 13 人、1 年生 23 人

マネージャー：2 年生 2 人、1 年生 1 人

硬式野球部は甲子園を目指して練習を頑張っています。

部員数は多いですが、互いに励まし合い、時には良いライバルとして切磋琢磨し合い、日々努力を重ねています。応援してくださる皆様の御期待に応えられるように、また、僕たちが野球をしている姿を 1 日でも長くお見せできるように、39 人全員で、これからの練習に、全力で臨んでいきたいと思ひます。

これからも引き続き、暖かいご支援・ご声援を宜しくお願いします。

《戦 歴》

(新チーム結成～)

VS 大 塚 1 - 3 ● 3 - 7 ●

VS 大阪学院 5 - 11 ● 4 - 1 ○

VS 大手前 7 - 2 ○ 21 - 2 ○

VS 池 田 1 - 5 ● 3 - 6 ●

VS 東 8 - 7 ○

VS 佐 用 3 - 1 ○

VS 畝 傍 12 - 12 △ 6 - 5 ○

VS 関西学院 0 - 5 ● 2 - 4 ●

VS 桜 塚 13 - 0 ○ 4 - 11 ●

VS 京都八幡 12 - 0 ○ 14 - 5 ○

VS 桃山学院 11 - 0 ○ 7 - 1 ○

VS 浪 速 3 - 5 ● 1 - 6 ●

VS 布 施 3 - 7 ● 2 - 4 ●

VS 三国丘 6 - 1 ○ 3 - 3 △

VS 三 島 8 - 5 ○ 4 - 3 ○

VS 神 戸 5 - 6 ● 8 - 4 ○

VS 港 1 - 2 ● 5 - 5 △

VS 摂 陵 1 - 8 ● 0 - 0 △

秋季大会 1 回戦 (9 月 7 日東大阪大柏原 G)

VS 東大阪大 0 - 10 ● (5 回コールド)

三校リーグ戦 (優勝)

VS 市 岡 11 - 7 ○

VS 八 尾 11 - 3 ○

合気道部

部員は現在 1 年 17 名、2 年 8 名の計 25 名で活動しています。

北野高校合気道部は天之武産合気道々場に所属し、時間が余裕にある者は放課後道場での練習にも参加させていただいています。

また、現在は師範に週に 2 回体術・武器術等様々な稽古をつけていただいています。

他校の合気道部との交流もしており、今年は大手前高校との合同合宿や、春日丘高校や北千里高校との合同練習を行いました。

現在 1 年は来年の六稜祭で発表する演武に向けて、また 2 年は昇段試験に向けて日々稽古に励んでいます。

山岳部

クラブはみんな仲良く楽しくやっています。2005 年度までは毎年インターハイに連続出場していました。しか

し、今は部員が入らず活動が滞っています。山登りは非常に楽しく、体力もつきます。興味を持った人は気軽に入部して下さい。

部員数：2年2人

活動時間：平日 15:30～17:00

土日は基本オフ。ただし、月1回のペースで山へ行って登山します。

OB、OG、顧問の先生方を含め、これからも山岳部をよろしく願います。

柔道部

北地区学年別大会 (1月19日)

3人戦 2年 北 野1-1 関大一高B

北 野3-0 樫の木

北 野0-3 金光大阪

第26回大村杯争奪高校柔道大会大阪大学石橋 (3月22日)

5人戦 北 野2-2 清 教

北 野1-4 八 尾

北 野2-2 三国丘

北 野1-4 大阪星光B

第57回全国高校柔道大会大阪府予選 (男子団体) (6月14日)

1回戦 北 野1-4 城東工科

第57回全国高校柔道大会大阪府予選 (男子個人) (6月15日)

— 66キロ級 園部2回戦敗退

石井2回戦敗退

— 73キロ級 川口1回戦敗退

— 90キロ級 白藤1回戦敗退

沼田1回戦敗退

天高戦 (6月28日)

点取り5人戦 北 野1-4 天王寺

抜き6人戦 北野引き分け代表戦負け

第63回大阪府総合体育大会柔道の部 (男子団体) (8月20日)

Ⅱ部3人戦3回戦北野1-2 登美丘

第63回大阪府総合体育大会柔道の部 (男子個人) (8月21日)

— 73キロ級 花井2回戦敗退

— 90キロ級 沼田2回戦敗退

北地区大会 (10月26日)

個人花井1回戦敗退

沼田2回戦敗退

第58回大阪高校柔道新人大会兼全国大会予選 (男子団体) (11月22日)

1回戦布施3人残して負け

第58回大阪高校柔道新人大会兼全国大会予選 (男子個人) (11月23日)

— 73キロ級 花井2回戦敗退

— 90キロ級 沼田1回戦敗退

女子テニス部

現在、2年生8人・1年生9人・マネージャー1人の合計18人で毎日楽しく、元気いっぱい活動しています。

厳しいときは、厳しく！楽しむ時は楽しむ！みんなで声を掛け合いながらボールを追い続けることはまさに青春です！

♪エースエースエースエースをねらえ♪

今年もOB・OGさんから練習球やテニス用品をいただきました。

本当にありがとうございます。

これからも毎日がんばりますので応援よろしく願います！

試合結果

☆大阪春季団体ベスト16

☆春季赤坂杯 (単) 本戦出場2人

1人ベスト8

☆夏季総体本戦出場ダブルス1組

シングルス2人 (ベスト32)

☆サマーTT (単) 本戦出場5人

☆秋季赤坂杯本戦出場

ダブルス3ペア (1組準優勝)

シングルス8人 (1人3位入賞)

女子バスケットボール部

こんにちは！(^^)

女子バスケットボール部です。

女子バスケットボール部は2年生5人、1年生7人、マネージャー1人の計13人で活動しています。

月曜日と金曜日は体育館が使えませんが、それ以外の日には体育館で練習できます。(*^▽^*)

朝授業が始まる前や、昼休みには自由に体育館で練習ができます。

毎日コーチが来てくださり、とても熱心に指導して下さいます。

夏には合宿もあります。(´▽｀)

みんな仲が良くてとても楽しいクラブです。

戦 績

インターハイ予選

1回戦 ○65-56 美 原

2回戦 ●- 刀根山

大阪総体地区予選

1回戦 ○85-40 大阪商大堺

2回戦 ●39-48 緑風冠

北地区公立校大会

1回戦 ●30-60 福 井

2回戦 ●33-105 芥 川

3回戦 ○76-50 園 芸

4回戦 ●46-63 東淀川

5回戦 ○55-53 池田北

新人大大会北地区

1回戦 ○50-44 槻 木

2回戦 ●47-49 阿武野

女子バレーボール部

部員 2年生8人、1年生8人、マネージャー0人 (募集中！)

練習日程

月、火、木→体育館

金→球技場

水→OFF

土、日→体育館 or 練習試合

顧問の熱心で厳しい指導のもと、私たちは日々練習に励んでいます。

春高予選

●2-0三 島

秋季部別

○2-1 東淀川

○2-0吹 田

○2-1 阿倍野

4部優勝3部昇格

大阪総合大会 (予選リーグ)

●2-0三 島

女子ハンドボール部

私たちは2年13人、1年9人の合計22人で毎日活動しています！

北野OBであるコーチや、たくさんのOB・OGさんに支えられ目標である中央大会出場を目指して日々練習に励んでいます！

秋は中央大会まであと1歩のところまで

負けてしまい悔しい思いをしたので、今年はますます気合を入れて練習していきたいと思っています。

□戦 績□

・大阪高校新人大会

○9-5 刀根山

○17-5 牧 野

○19-5 柴 島

●5-18 寝屋川

・秋季インターハイ予選ブロック

○19-8 刀根山

●11-14 東淀川

・天高戦

●11-13 (新人戦)

○7-5 (現役戦)

・春季インターハイ予選ブロック

●9-10 茨 木

●4-12 春日丘

水泳部

現在、部員数47人で活動中です。今年も有望な1年生が入ってくれました。

1年29人、2年18人で毎日、自己ベスト更新のためがんばっています。部の目標は、全員大阪大会 (中央大会) 出場です！

初心者でも最終的には大勢が中央進出できます！熱い部員大歓迎！水泳で青春を満喫しよう♪

・大阪府選手権 (6月) 於：なみはやドーム29名 (標準記録突破者) 出場

男子50m 平泳ぎ7位

・地区大会 (6月) 於：桜宮高校

多数標準記録突破

・中央大会 (6月) 於：なみはやドーム29名 (標準記録突破者) 出場

男子50m 自由形5位

男子400m フリーリレー9位

男子400m メドレーリレー9位

・近畿大会 (7月) 於：なみはやドーム

男子50m 自由形4位

・高校対校選手権 (8月)

男子50m 自由形4位

男子50m 背泳ぎ5位

男子200m 平泳ぎ6位

男子400m 個人メドレー5位

男子400m フリーリレー5位

男子400m フリーリレー8位

・インターハイ (8月) 於：川口市青木町公園総合運動場プール

男子50m 自由形全国44位！

・北摂大会 (9月) 於：東豊中千里青雲高校プール

男子3位

・新人大大会 (9月) 於：大阪プール

男子50m 自由形2位

男子200m メドレーリレー9位

男子200m フリーリレー10位

男子総合8位

男子50m 自由形2位

男子200m メドレーリレー9位

男子200m フリーリレー10位

男子総合8位

卓球部

大阪64ブロック代表大会 (4/29)

男子シングルス

春季高校選手権大会

男子団体 (5/3) 1回戦

男子ダブルス (5/4) 4 回戦
 男子シングルス (5/5) 4 回戦
 夏季北摂大会 (7/27)
 男子団体 3 位
 男子シングルス 4 位
 全日本ジュニア予選 (8/1)
 男子シングルスベスト 64
 大阪高校新人大会
 男子団体 (8/18) 2 回戦
 男子シングルス (8/19) 4 回戦
 男子ダブルス (8/31) 2 回戦
 チャレンジカップ (11/3)
 1 位トーナメント 1 回戦
 大阪高校総体 (11/24)
 男子団体
 1 回戦 北 野 3 - 2 明 星
 2 回戦 北 野 3 - 0 刀根山
 3 回戦 北 野 3 - 2 なみはや
 4 回戦 北 野 1 - 3 清水谷
 オープンチャレンジカップ (2009/1/6)
 全国選抜シングルス予選 (2009/1/10)
 ベスト 32
 現在、1 年男子 5 名、女子 1 名 2 年男子 6 名で活動中です。

男子テニス部

3 月
 ○大阪ジュニア
 シングルス ベスト 64 (2 人)

5 月
 ○春季大阪総体
 団体戦 ベスト 32
 シングルス ベスト 64
 ダブルス ベスト 32 (2 人)
 ベスト 64 (2 組)

6 月
 ○春季赤坂杯
 本戦出場数名

7 ~ 8 月
 ○大阪府公立団体 優勝
 ○夏季大阪総体
 シングルス ベスト 32
 ベスト 64 (2 人)
 ベスト 128
 ダブルス ベスト 32

○ジュニア池村杯
 シングルス ベスト 64
 ダブルス ベスト 16

9 ~ 10 月
 ○秋季団体 1 部本戦出場

10 ~ 11 月
 ○秋季赤坂杯
 シングルス 優勝
 ベスト 8
 ベスト 16 (2 人)
 ベスト 32 (3 人)
 ダブルス 優勝
 ベスト 4
 ベスト 8

12 ~ 1 月
 ○ジュニア田村杯
 シングルス ベスト 64
 ダブルス ベスト 32

1 月
 ○近畿公立高校団体 5 位
 男子テニス部は現在 2 年 9 人、マネージャー 1 人、1 年 6 人の計 16 人でほぼ毎日活動しています。
 OB のみなさんからのボールやガット張り機は感謝して使わせていただいで

います。
 部活では全学年一丸となって頑張っています。
 これからも男子テニス部をよろしくお願ひします。

男子バスケットボール部

戦 績
 大阪総体地区予選
 1 回戦 ● 62 - 79 高槻北
 北地区公立校大会
 北 野 ○ 芥 川 北 野 ○ 箕 面
 北 野 ● 三 島 北 野 ○ 渋谷
 北 野 ● 園 芸
 新人大会北地区
 2 回戦 ○ 71 - 58 吹田東
 3 回戦 ● 64 - 81 豊 島

男子バレーボール部

現在、男子バレーボール部は 2 年生 8 人、1 年生 8 人、マネージャー 1 人の計 17 人で活動しています。
 1 人 1 人が目標を持って、どうすればうまくなるかを考えながら練習に励んでいます。
 練習時間が限られていますが、その分集中して練習しています。
 近畿大会出場を目標に頑張っていくので応援よろしくお願ひします。

インターハイ予選
 ● 1 - 2 堺市立工業

天高戦
 ● 0 - 2 天王寺

大阪総体
 ○ 2 - 0 咲くや此花
 ● 0 - 2 豊 島

府立高大会
 ● 1 - 2 茨 木
 ● 1 - 2 千 里
 大阪新人高校大会 (部別)
 ● 1 - 2 堺 東
 ○ 2 - 0 生 野
 ○ 2 - 1 初芝富田林

男子ハンドボール部

現在男子ハンドボール部は 1 年生 12 名、2 年生 13 名で活動しています。指導者がいない中、キャプテンを中心に近畿、全国を目指し日々練習に励んでいます。
 これからも男子ハンドボール部をよろしくお願ひします。

戦 績
 《春季大会》
 北ブロック大会
 準々決勝 16 - 12 ○茨 木
 準決勝 21 - 10 ○芥 川
 決勝 18 - 16 ○春日丘
 中央大会
 1 回戦 17 - 25 ●泉 陽

《秋季大会》
 北ブロック大会
 準々決勝 21 - 13 ○北千里
 準決勝 29 - 10 ○関西大学北陽
 決勝 29 - 15 ○東豊中千里青雲
 中央大会
 1 回戦 24 - 14 ○泉 北
 準々決勝 26 - 21 ●大商大堺
 →大阪ベスト 8
 《新人大会》

北ブロック大会
 準々決勝 24 - 16 ○関西大倉
 準決勝 25 - 15 ○大商学園
 決勝 21 - 16 ○関西大学北陽
 中央大会
 1 回戦 28 - 16 ○泉 陽
 準々決勝 26 - 16 ●大阪体育大学浪商
 →大阪ベスト 8

陸上競技部

今年も快調に走り続ける陸上部は、それぞれに目標を持ってがんばる部員の中、日々練習に邁進しています。
 毎年多くの選手が中央インターハイに出場し、近畿インターハイ進出者も出ています。
 いい雰囲気と流れの中で、これからの更なる飛躍を目指して切磋琢磨していきたいと思います。
 部員、マネージャーともに随時募集中なので、興味のある人は、ぜひ見学に来てください！

試合結果
 インターハイ大阪大会
 男子 800m (決勝 4 位近畿大会出場)
 1500m (決勝進出)
 5000m (決勝)
 女子 3000m (決勝)
 走高跳 (決勝進出)
 4 × 400mR (決勝進出 8 位)

インターハイ近畿大会
 男子 300m
 大阪選手権
 女子 200m (準決勝進出)
 走高跳 (決勝)
 4 × 400mR (決勝進出)

大阪総体
 男子 100m (決勝進出)
 200m (準決勝進出)
 5000m (決勝 2 位近畿大会出場)
 3000mSC
 走幅跳 (決勝)
 三段跳 (決勝)
 円盤投 (決勝 7 位)
 4 × 100mR (準決勝進出)
 女子 1500m (決勝進出)
 3000m (決勝)
 走高跳 (決勝)
 4 × 400mR (決勝進出)

近畿ユース陸上選手権
 男子 5000m
 大阪高校駅伝
 男子 (6 位近畿大会進出)
 女子
 陸上部ホームページ ↓
http://www.rac-kitano.org/~gen_eki/

今回はページ数の関係で運動部だけ掲載しました。文化部については次号に掲載します。

2008 年 10 月 18 日に行われた体育大会の様子です。上段・入場行進後の旗手集合、中段・米騒動リレー、下段・100m 決勝。新記録こそなかったものの、全力で競技する生徒たちの姿が随所で見られました。
 撮影：山形徹先生

表紙解説

121期生同窓会 学年理事

	理 事		副 理 事	
男子	竹下 友人	1 組	延藤 和樹	3 組
女子	山本 紗弓	1 組	吉田 愛	5 組

クラス幹事

組	男 子	女 子
1	竹下 友人	山本 紗弓
2	鈴木 達雄	立野 真未
3	延藤 和樹	永尾 智子
4	田中 俊祐	水野 聡美
5	安井 瑛彦	吉田 愛
6	西村 優一	久保奈々美
7	岸本 裕大	西山 夏穂
8	近藤 大	満仲 友愛



六稜カルチャー講座のお誘い

3 月 9 日 (第 2 月曜日) 万葉に親しむ
 4 月 24 日 (第 4 金曜日) 英文学名作の旅
 5 月 22 日 (第 4 金曜日) 万葉に親しむ
 6 月 26 日 (第 4 金曜日) 英文学名作の旅
 7 月 24 日 (第 4 金曜日) 万葉に親しむ
 8 月 28 日 (第 4 金曜日) 英文学名作の旅
 9 月 25 日 (第 4 金曜日) 万葉に親しむ
 10 月 23 日 (第 4 金曜日) 英文学名作の旅
 11 月 27 日 (第 4 金曜日) 万葉に親しむ
 12 月 18 日 (第 3 金曜日) 英文学名作の旅
 各講座とも 2 時より開始。

会 費 ￥500

六稜短信

2008 年 4 月以降、2009 年 1 月までにご連絡いただきました方々を掲載させていただいております。

44 期	西澤 保一	2008 年 5 月 1 日
45 期	倉田 順雄	2008 年 5 月 13 日
46 期	徳山 正文	2008 年 5 月 14 日
47 期	西尾小五郎	2008 年 8 月 20 日
48 期	佐野 一雄	2008 年 3 月 14 日
	鎌田 富藏	2008 年 4 月 8 日
49 期	三宅 種夫	2008 年 4 月 24 日
	中村 武夫	2008 年 8 月 13 日
50 期	倭 馬左也	2008 年 10 月 6 日
	藤田 和夫	2008 年 12 月 1 日
51 期	堀 幸清	2008 年 3 月
53 期	野口藤三郎	2008 年 7 月 14 日
	秋吉 淑彦	2008 年 9 月 23 日
54 期	奥田 修	2008 年 7 月 12 日
55 期	大須賀二朗	2008 年 11 月 4 日
56 期	片桐 努	2008 年 4 月 3 日
58 期	山内 貞義	2008 年 5 月 26 日
	大橋 浩一	2008 年 10 月 10 日
	長谷川元耶	2008 年 11 月 23 日
	北川 周洋	2008 年 12 月 5 日
59 期	酒井 義久	2008 年 7 月 22 日
	奥野 茂	2008 年 9 月 7 日
60 期	小田 増夫	2008 年 7 月 5 日
	片岡 俊夫	2008 年 7 月 19 日
	大橋 正尚	2008 年 7 月 20 日
	木村 肇	2008 年 9 月 18 日
	原田孝太郎	2008 年 10 月 31 日
61 期	古川 吉治	2008 年 2 月 28 日
	小谷 寛	2008 年 6 月 17 日
	貴志 健	2008 年 10 月 7 日
62 期	辻 文雄	2008 年 8 月 29 日
63 期	市村 博	2009 年 1 月 1 日

65 期	河野 房代	2008 年 4 月
	早矢仕俊雄	2008 年 8 月 17 日
	丸井 道恵	2008 年 11 月
66 期	橋本 良嗣	2008 年 4 月 24 日
	山崎三七雄	2008 年 7 月 1 日
	丸野 豊子	2008 年 8 月 1 日
	本庄谷京子	2008 年 12 月 28 日
67 期	内山 芳子	2008 年 2 月 28 日
	野神 享	2008 年 4 月
	渡辺 泰堂	2008 年 8 月 19 日
	土居 一幸	2008 年 9 月 25 日
	田中 望	2008 年 12 月 2 日
	萩野日出子	2008 年 12 月 9 日
68 期	橋本 薫	2008 年 4 月 5 日
	三善 弥生	2008 年 8 月 21 日
72 期	西野 敏克	2008 年 6 月 14 日
	増田 章	2008 年 8 月 21 日
	白砂 克夫	2008 年 8 月 31 日
	山本 孝子	2008 年 9 月 27 日
73 期	佐藤 義基	2008 年 11 月 29 日
74 期	田口 勲	2008 年 5 月 20 日
	丸橋 幸枝	2008 年 7 月 20 日
	和太守卑良	2008 年 9 月 7 日
	杉原千鶴枝	2008 年 9 月 19 日
80 期	安田 博幸	2008 年 8 月
90 期	里見 宏	2008 年 8 月 28 日
91 期	吉田 和哉	2008 年 5 月 30 日
92 期	絵所 永	2008 年 9 月 19 日
	原田 知子	2008 年 11 月 16 日
96 期	田中 礼子	2008 年 1 月 9 日

ご卒業期順、および、ご逝去日順に掲載しております。
 謹んで、お知らせいたします (敬称略)。

六稜同窓会136周年総会

日 時: 2009年10月25日(日) 13時から
場 所: 北野高校 多目的ホール・六稜会館
担当期: 90期

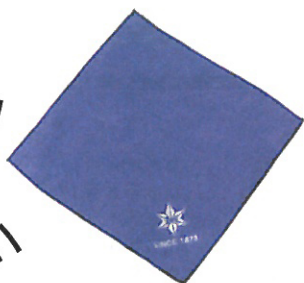
開催のご案内

詳細は次号(No.53)にてお知らせします。

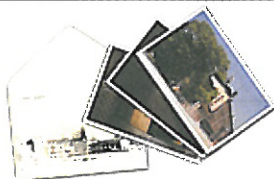
六稜グッズ



◎Tシャツ
Mサイズ …800円[TSM]
Lサイズ …800円[TSL]
(※2枚で1,500円)



◎ハンカチ Sサイズ …300円[HDKS]
Mサイズ …400円[HDKM]
(※郵送の場合は3枚以上をお願いします)



◎絵はがき
ラストショット…500円[LST]



◎絵はがき
校内スケッチ…500円[PSS]



◎学校紹介DVD
「六稜魂」…2,000円[PRD]

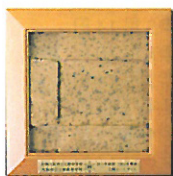


◎金属製「葉」
…300円[BMK]

◎書籍『北野130年史』(B5判)
…2,000円[130]

◎書籍『われら六稜人』シリーズ (A5判)
1998年 …1,500円[W98]
1999年 …1,500円[W99]
2000年 …1,500円[W00]
2001年 …1,500円[W01]
上記4巻セット…4,000円[W4S]

◎同窓会名簿
2008年版…5,000円[R08]



◎昭和校舎 外壁タイル
…5,000円[STL]



※同窓会事務局にて取り扱っています。
お申し込みは[太字]の記号で。
詳しくはお問い合わせください。

名簿作成へのご協力、ありがとうございました。



135周年の記念名簿を作成するに当たり、多くの
方々のご協力をいただきありがとうございました。心より感謝申
上げます。

5年ごとに作成されてきた名簿です。この名簿により、六稜人の
絆がさらに強まり、親睦の輪が広まることを願っています。

既に1000部の名簿が購入されていますが、未だの方はぜひご購
入いただきますようお願いいたします。

名簿委員長 和田芳郎

六稜会報
No.52

編集委員 壽榮松正信(74期)
作山 倫子(88期)
安井 昌子(88期)
尾辻かおる(90期)
出口 学(94期)
松田 典子(95期)
谷 卓司(98期)
中嶋 明子(106期)
北野 美穂(113期)

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025大阪市淀川区新北野2-5-13府立北野高校内
tel.06-6306-0374 fax.06-6306-1335
email.office@rikuryo.or.jp
事務局◎月・水・金(祝日は休) 10:00~17:00

発行日 2009年3月1日
発行者 山本雅弘(71期)
編集長 千種康一(88期)

印刷 株式会社ひかり工房
〒556-0002大阪市浪速区恵美須東1-10-2
tel.06-6641-6011 fax.06-6641-6012